

Heartcore, Inc. www.heartcore.co.jp support@heartcore.co.jp

Heartcore, Inc.

# HeartCore Web コンテンツ管理システム

# インストールガイド

簡単・安価にWeb サイトを作成・公開・管理



# 著作権および機密情報

著作権 ハートコア株式会社 1999–2020。当ユーザガイドはハートコア株式会社の機密情報により構成されています。本 書の無断複製、複写、転写、情報検索方式での格納、又は、いかなる言語への翻訳においてもハートコア株式会社の許 可無しでは固く禁じられています。

# 注意

ハートコア株式会社は、本書の記載内容において、何時でも予告なく変更することがあります。また、本書において明 示または黙示を問わず、一切保証致しません。ハートコア株式会社はいかなる場合においても、購入した際および本書 の使用時、またはこれに含まれる情報によって生じた間接的、特別かつ偶発的損害に関しての責任を負いません。

# ライセンスおよび商標

HeartCore Web コンテンツ管理や HeartCore ロゴは商標であり、ハートコア株式会社独自の登録商標です。また、その他の企業、製品、トレードネームは商標であり、各所有者の登録商標です。

HeartCore Web コンテンツ管理は wz\_dragdrop.js ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2002-2003 Walter Zorn (www.walterzorn.com) ライセンスは GNU Lesser General Public License (LGPL) (http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html)の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は wz\_jsgraphics.js ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2002-2004 Walter Zorn (www.walterzorn.com) ライセンスは GNU Lesser General Public License (LGPL) (http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html)の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Dynarch DHTML Calendar ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2002-2005 Mihai Bazon (http://www.bazon.net/mishoo - http://www.dynarch.com/projects/calendar) ライセンスは GNU Lesser General Public License (LGPL) (http://www.gnu.org/licenses/Igpl.html) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Kryogenix sorttable ライブラリを使用しています。Copyright (c) 1997-2005 Stuart Langridge (http://www.kryogenix.org/code/browser/sorttable/) ライセンスは MIT License (http://www.kryogenix.org/code/browser/license.html) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は SWFupload コンポーネントとライブラリを使用しています。Copyright (c) 2006-2007 Lars Huring、Olov Nilzén、Mammon Media Copyright (c) 2007-2008 Jake Roberts (http:// www.swfupload.org/) ライセンス は MIT License (http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php)の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Prototype ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2005 Sam Stephenson (http://prototype.conio.net/) ライセンスは MIT License (http://www.kryogenix.org/code/browser/license.html) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Scriptaculous ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2005 Thomas Fuchs (http://script.aculo.us/) このライブラリはフリーソフトウェアとして使用が許可されています。

HeartCore Web コンテンツ管理は Rico ライブラリの一部を使用しています。Copyright (c) 2005 Sabre Airline Solutions (http://openrico.org/) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Rico Livegrid Plus ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2006 Matt Brown (http://dowdybrown.com/) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Lightbox library ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2006 Lokesh Dhakar (http://www.huddletogether.com/) ライセンスは Creative Commons Attribution 2.5 License (http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は TableKit ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2007 Andrew Tetlaw & Millstream Web Software (http://www.millstream.com.au/view/code/tablekit/) このライブラリはフリーソフトウェアとして使用が許可 されています。

HeartCore Web コンテンツ管理は jQuery ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2011 John Resig (http://jquery.org/) ライセンスは MIT License (http://jquery.org/license/) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は jsTree ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2010 Ivan Bozhanov (http://jstree.com/) ライセンスは MIT License (http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は JavaBeans Activation Framework ライブラリを使用しています。Copyright (c) Sun Microsystems (http://www.sun.com/) ライセンスは Sun Microsystems, Inc. Binary Code License Agreement の条件に準じます。



HeartCore Web コンテンツ管理は JavaMail ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2009 Sun Microsystems (http://www.sun.com/) ライセンスは Sun Microsystems, Inc. Binary Code License Agreement の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Apache Jakarta JCS ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2001-2007 The Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Apache Commons Logging ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2003-2007 The Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Apache log4j ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2010 The Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は concurrent ライブラリを使用しています。Copyright (c) Doug Lea (http://gee.cs.oswego.edu/dl/classes/EDU/oswego/cs/dl/util/concurrent/intro.html) このライブラリはフリーソフトウェアとし て使用が許可されています。

HeartCore Web コンテンツ管理は slidetabs ライブラリを使用しています。Copyright (c) WebStack (http://www.slidetabs.com/)

HeartCore Web コンテンツ管理は ContentBuilder.js ライブラリを使用しています。 Copyright (c) InnovaStudio (http://www.innovastudio.com/)

HeartCore Web コンテンツ管理は CodeMirror ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2017 Marijn Havebeke (marijnh@gmail.com) (http://www.codemirror.net/) ライセンスは MIT License (https://codemirror.net/LICENSE) の条件に準 じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Tiny Colorpicker ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2013 Maarten Baijs (http://www.baijs.com/) ライセンスは MIT License の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は HTML5 FormData Polyfill を使用しています。Copyright (c) 2016 Jimmy Karl Roland Wärting (https://github.com/jimmywarting/FormData) ライセンスは MIT License の条件に準じます。



# HeartCore

Webコンテンツ管理システム

# 簡単・安価に Web サイトを作成・公開・管理

#### はじめに

本書は、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムのインストールガイドです。Web サイトを作成、公開、管理するにあたり、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムをインストール、設定する方法について記しています。

Web やデータベースサーバに精通している方であれば、HeartCore Web コンテンツ管理システム をインストールし、設定することは簡単な作業であり、数分で完了します。

本書は、7つのパートに大別されます。

パート1では、システム要件と、HeartCore Web コンテンツ管理システムをインストールする前 に必要な知識や作業についてご説明します。

パート2では、HeartCore Web コンテンツ管理システムのプログラムファイルのダウンロード及 びインストール方法についてご説明します。

パート3では、自身のデータベースにて HeartCore Web コンテンツ管理システムを Web サイト 上で動作させるための最小限の初期クイックスタート設定についてご説明します。

パート4では、HeartCore Web コンテンツ管理システムをインストール、設定した後の操作についてご説明します。

パート5では、HeartCore Web コンテンツ管理システムのプログラムファイル及び、データベースの最新版へのアップグレード方法についてご説明します。

パート6では、HeartCore Web コンテンツ管理システムを、デフォルトで含まれている言語から その他言語への翻訳方法、また代替言語の使用方法について説明します。

パート7では、プログラミング API スクリプト、カスタム追加モジュールや拡張、サードパー ティ製追加モジュールや拡張について、インストール及び設定方法をご説明します。



••••••

目次		
はじめに		4
目次		5
1 シス	テム要件	
2 ダウ	ンロードとインストール	
2.1 .N	<b>ET 版のインストールおよびサーバ設定</b>	
22 15	D版のインストールなとびサーバ設定	11
2.2 JO 221	キャッシュ	
2.2.2	ログ	
12 7	$\rho^{\circ} \eta \neq -\infty h$	12
2.3	· · · / · · · · · · · · · · · · · · · ·	12
2.4 Ar	mazon Web Services (AWS)クラウドデプロイメント	
2.4.1	Elastic Beanstalk	
2.4.2	環境とプラットフォーム	
2.4.3	アップロード	
2.4.4	ドメイン名	
2.4.5	データベース	
2.4.6	ハードウェア	
2.4.7	データベースサーバ	
2.4.8	デブロイメント	
2.4.9	クラウドストレージ	
2.4.10	クイックスタート設定	
2.4.11	接続タイムアウト	
2.5 Mi	icrosoft Azure クラウドデプロイメント	
2.5.1	Microsoft Azure	
2.5.2	データベース	
2.5.3	クラウドストレージ	
2.5.4	設定	
2.5.5	ハードウェア	
2.5.6	アップロード	
2.5.7	クイックスタート設定	
3 クイ	ックスタート設定	
3.1 サ	ーバ	
3.2 デ	ータベース	39
3.2.1	NET 用データベース接続	
3.2.2	JSP 用データベース接続	



••••••

Installation Guide

3.2.3	PHP 用データベース接続	
3.2.4	データベース接続文字列	
3.3 ライ	イセンス	45
3.4 ス・	ーパーユーザ(全体管理者)	47
<b>3.5 Wo</b> 3.5.1	eb サイトコンテンツ 既存 Web サイトのインポート	<b>47</b> 48
3.5.2	サンプルクイックスタート Web サイトのインポート	
3.6 We	eb サイトデザイン	
3.7 We	eb サイト設定	
4 イン	ストール及び設定完了後	52
4.1 ¤	グイン	
4.2 D	グアウト	53
4.3 X	ーパーユーザのユーザ名とパスワード取得	54
<b>4.4</b> 赤、	- <i>Ъ</i>	54
5 ソフ	トウェア更新	56
5.1 ダ	ウンロードとインストール	
5.2 デ	ータベースアップグレード	57
6 国際	化	58
6.1 He	cartCore Web コンテンツ管理システムのテキスト	58
6.2 He	cartCore Web コンテンツエディタのテキスト	58
6.3 Wo	eb サイト管理者の言語選択	60
7 追加	モジュール、拡張、プログラミング API スクリプト	61
7.1 为. 7.1.1	<b>スタム / サードパーティ製追加モジュール</b> インストールと設定	<b>61</b>
7) +	スタム/サードパーティガ張	<u> </u>
7.2.1	インストールと設定	
7.3 商	品在庫確認・商品配信 カスタム/サードパーティ拡張 商品在庫確認 カスタム/サードパーティ拡張	
7.3.1	商品配信 カスタム/サードパーティ拡張	
	Page 6 of 68	



•••••••

Installation Guide

7.4 ワー	-クフローアクションカスタム/サードパーティ拡張	
7.4.1	インストールと設定	
7.5 We	b コンテンツエディタカスタム/サードパーティ拡張	
7.5.1	インストールと設定	
7.6 プロ	ュグラミング API スクリプト	
7.6.1	インストールと設定	
7.6.2	外部 Web サイト公開/アーカイブ プログラミング API	
7.6.3	ファイルアップロード プログラミング API	
7.6.4	コンテンツデータ検証 プログラミング API	
7.6.5	ユーザデータ認証 プログラミング API	
7.6.6	メディアクラウドストレージ API	
7.6.7	ワンタイムパスワードログインプログラミング API	
7.6.8	クラウドデプロイメント API	
7.6.9	Usagelog データ要約	



1

Installation Guide

# システム要件

HeartCore Web コンテンツ管理システムは非常に柔軟性があり、オペレーティングシステム、 Web サーバ、プログラミング/スクリプト言語、データベースサーバに関し、ほとんどの主要 な Web サイトプラットフォーム上で動作するという点で優れています。お使いの Web サイトの プラットフォームが何であっても、おそらくサポートされているでしょう。

例えば、Microsoft Windows・Internet Information Server • Active Server Pages • Access といったプ ラットフォームを、Unix • Apache • Java Server Pages • Oracle といった他のプラットフォームに 切り替える必要があったとしても、そのまま現状の HeartCore Web サイト管理システムを継続し てご利用いただけます。他の Web コンテンツ管理システムを購入したり、Web サイトを再開発 したり、Web サイト管理者を再教育する必要はございません。

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、以下の Web サイトプラットフォームで動作します。

Web サイトプラットフォーム	サポート製品
オペレーティングシステム	Microsoft Windows Unix/Linux
Web サーバ	Microsoft Internet Information Server Apache (+ 標準に準拠した他の全ての Web サーバ)
プログラミング/ スクリプト 言語	.NET(2.0 以上) JSP(Java 8 以上) PHP(5.5 以上で、PHP PEAR MDB2 を使用)
データベースサーバ	Microsoft SQL Server Oracle Database Server IBM DB2 Universal Database Server MySQL Database Server PostgreSQL Database Server
Web ブラウザ (Web サイト管理者)	Microsoft Windows Internet Explorer (v8.0 以上) Mozilla Firefox (v3.0 以上) Safari (v2.0.1 以上) Google Chrome (v2.0 以上) 旧バージョン及びその他の Web ブラウザでも、完全あるいは部分 的に動作する場合もあります。
Web ブラウザ (Web サイトユーザ、訪問者)	標準に準拠したブラウザ全て

HeartCore Web コンテンツ管理システムがサポートする Web サイトプラットフォームソフトウェアは、最新に近いバージョンのみということにご注意ください。機能面、セキュリティ面の問題を避けるためにも、Web サイトプラットフォームソフトウェアが最新版にアップデートされているか、少なくとも最新に近いバージョンであるかどうか、常に注意していただく必要があります。

HeartCore Web コンテンツ管理システムをインストールする前に、以下のことをご確認ください。

 オペレーティングシステム、Webサーバ、プログラミング/スクリプト言語、データベー スサーバ、データベースドライバ、Webブラウザがインストールされており、正常に動作 する。



- Web サーバや Web サイトディレクトリ/フォルダへのアクセス権限があり、FTP(ファイ ル転送プロトコル)や Microsoft Networking 等でのファイルのコピーが可能である。
- HeartCore Web コンテンツ管理システム Web サーバプロセス/ユーザは、次の Web サイト ファイルやフォルダに対する作成および書き込み権限を有すること。
  - o /
  - o /defaults.aspx /defaults.jsp /defaults.php
  - o /ini.aspx /ini.jsp /ini.php
  - o /file/
  - o /image/
  - o /upload/
- データベースサーバ上に空のデータベースインスタンスが作成されており、接続、テーブ ルの作成/削除、レコードの作成/削除の権限を有すること。
- データベースインスタンス名、ユーザ名、パスワード、並びに Web サイトからデータベー スに接続する権限を有している。



# 2 ダウンロードとインストール

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、弊社の Web サイト (<u>www.heartcore.co.jp</u>) よりダウ ンロードすることができます。このソフトウェアは様々なパッケージやフォーマットで提供さ れています。詳細は Web サイトをご確認ください。

ダウンロードされたパッケージは、圧縮されたアーカイブファイルになっており、Web サーバ ヘインストールするには、解凍して抽出する必要があります。もしくは、圧縮されたファイル アーカイブを、クラウドウェブホスティングサービスへ展開します。パッケージには、大量の フォルダやファイルが含まれています。ダウンロードするパッケージによりますが、ルートフ ォルダやファイルは、例えば次のようになっています。

App_Code/ pin/data.phppage.phpshopcart.aspxpin/default.gifpage.original.aspxshopcart.aspxpizcard/element.aspxpage.original.aspxshopcart.jspilie/element.jsppage.original.phpstylesheet.aspxmage/element.jsppost.aspxstylesheet.jsppassword/file.aspxpost.jspstylesheet.original.aspxpoersonal/file.jsppost.phpstylesheet.original.aspxupload/image.aspxproduct.aspxstylesheet.original.jspupload/image.aspxproduct.original.aspxsubscribe.aspxWEB-INF/image.jspproduct.original.aspxsubscribe.aspxatom.aspxindex.aspxproduct.original.aspxsubscribe.phpatom.jspindex.aspxregister.aspxtemplate.aspxconfig.jsplink.ispregister.jspunavailable.aspxconfig.static.aspxlogin.jspregister.phpunavailable.jspconfig.static.isplogin.jspscript.aspxunavailable.jspconfig.static.phplogin.post.aspxscript.aspxunavailable.jspconfig.static.phplogin_post.aspxscript.aspxunavailable.phpconfig.static.phplogin_post.aspxscript.aspxunavailable.phpconfig.static.phplogin_post.aspxscript.aspxunavailable.jspconfig.static.phplogin_post.aspxscript.aspxunavailable.jspconfig.static.phplogin_post.aspxscript.aspxunavailable.jspco	ルートフォルダとファイル名			
	App_Code/ bin/ bizcard/ file/ image/ password/ personal/ rest/ upload/ webadmin/ WEB-INF/ atom.aspx atom.jsp atom.php config.aspx config.spp config.static.aspx config.static.aspx config.static.jsp config.static.php contact.aspx contact.jsp contact.aspx contentitem.aspx contentitem.aspx contentitem.jsp contentitem.php data.aspx data.jsp	data.php default.gif element.aspx element.jsp element.php file.aspx file.jsp file.php image.aspx image.jsp image.php index.aspx index.jsp index.aspx link.jsp link.aspx link.jsp link.php login.aspx login.php login_post.aspx login_post.spp login_post.php logout.aspx logout.jsp logout.php page.aspx page.jsp	page.php page.original.aspx page.original.jsp page.original.php post.aspx post.jsp post.php product.aspx product.jsp product.original.aspx product.original.jsp product.original.jsp product.original.php register.aspx register.jsp register.php rss.aspx rss.jsp rss.jsp script.aspx script.original.aspx script.original.aspx script.original.jsp script.original.jsp script.original.jsp script.original.jsp script.original.php search.aspx search.jsp	shopcart.aspx shopcart.jsp shopcart.jsp stylesheet.aspx stylesheet.aspx stylesheet.php stylesheet.original.aspx stylesheet.original.jsp stylesheet.original.jsp stylesheet.original.php subscribe.aspx subscribe.jsp subscribe.jsp template.aspx template.aspx unavailable.aspx unavailable.jsp unavailable.jsp unavbscribe.jsp unsubscribe.jsp

HeartCore Web コンテンツ管理システムのいくつかのファイルは、既存のWebサイトファイル と同じ名前が付けられる可能性があります。その場合、既存ファイルは上書きされます。 HeartCore Web コンテンツ管理システムをインストールする前に、既存のWebサイトファイル すべてをバックアップしてください。

HeartCore Web コンテンツ管理システムをインストールする際は、下位ファイルやサブフォルダ を含むすべてのファイルとフォルダを、Web サーバの Web サイトルート/ホームフォルダにコ ピーしてください。ただし、.NET ソフトウェアパッケージの場合は、"Content\Default Web Site" フォルダから、下位ファイルやサブフォルダを含むすべてのファイルとフォルダを、Web サー バの Web サイトルート/ホームフォルダにコピーしてください(それ以外のフォルダやファイ ルは、クラウドデプロイメントでのみ使用します)。Web サイトルート/ホームフォルダと は、メインのホームページファイルが配置されている場所です。



#### 2.1 .NET 版のインストールおよびサーバ設定

HeartCore Web コンテンツ管理システムの.NET バージョンは、最小限の "web.config" Web サー バ設定ファイルと "global.asax" プログラムファイルを含んでいます。もし既存の "web.config" Web サーバ設定ファイルあるいは "global.asax" プログラムファイルが存在する場合は、それら のファイルを HeartCore Web コンテンツ管理システムの "web.config" Web サーバ設定ファイルお よび "global.asax" プログラムファイルとマージする必要があります。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの.NET バージョンは、デフォルトでは、.NET2.0-3.5の Web サーバ上で動作するよう設定されています。.NET4.0 をお使いの場合は、"web.config" Web サーバ設定ファイルを編集して、"<httpRuntime requestValidationMode="2.0" />" を非コメント化 (前後の "<!\_\_" と "-->" を削除します) する必要があります。そうしなければ、特殊文字を含 むコンテンツの保存ができないなど、正しく動作しない可能性があります。

#### 2.2 JSP 版のインストールおよびサーバ設定

HeartCore Web コンテンツ管理システムの JSP バージョンにも、最小限の "/WEB-INF/web.xml" Web サーバ/アプリケーションサーバ設定ファイルと、複数の "/WEB-INF/lib" jar プログラムフ ァイルが含まれています。もし既存の "/WEB-INF/web.xml" Web サーバ/アプリケーションサー バ設定ファイルが存在する場合は、HeartCore Web コンテンツ管理システムの "/WEB-INF/web.xml" Web サーバ/アプリケーションサーバ設定ファイルとマージする必要がありま す。また、もしお使いの Web サーバ/アプリケーションサーバに、既にいくつかの "/WEB-INF/lib/" jar プログラムファイルが存在する場合は、HeartCore Web コンテンツ管理システムに含 まれているそれらのファイルは無視して、既存のファイルをご使用ください。ただし、Web サ ーバ/アプリケーションサーバの他の場所に、既にいくつかの "/WEB-INF/lib/" jar プログラムフ ァイルが存在する場合においては、競合を避けるためそれらのファイルは削除してください。 例えば、"activation.jar" と "mail.jar" プログラムファイルが、既に Web サーバ/アプリケーショ ンサーバに存在していて、これらのコピーが "/WEB-INF/lib" フォルダにも存在する場合、 HeartCore Web コンテンツ管理システムの E メール機能が正しく動作しない可能性があります。

#### 2.2.1 キャッシュ

デフォルトでは、HeartCore Web コンテンツ管理システムは、設定やコンテンツ等のローカルメ モリキャッシュに、Apache Java Caching System を使用しています。

任意で、複数サーバーインストール向けに、キャッシュサイズや時間をそれぞれ変更すること が可能です。また、ディスクキャッシュや分散キャッシュを使用するよう設定も可能です。

詳しくは、"/WEB-INF/classes/cache.ccf" Web サーバ/アプリケーションサーバ設定ファイル を ご参照ください。

#### 2.2.2 ログ

デフォルトでは、HeartCore Web コンテンツ管理システムは、デバッグデータと監査データをコ ンソールの標準出力ログファイルへ記録します。

任意で、ビッグデータを使用したウェブサイトアクセス解析向けに、ユーザやアクセス情報の データも、ログファイルまたは Apache Kafka のようなサードパーティのサービスやシステムへ 記録することが可能です。

詳しくは、"/WEB-INF/classes/log4j.properties" Web サーバ/アプリケーションサーバ設定ファイルをご参照ください。



# 2.3 スペルチェック

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、Aspell (aspell.net) スペルチェックアプリケーション を利用した Web コンテンツの統合スペルチェックをサポートします。

スペルチェック機能を有効にするには、Web サーバに Aspell アプリケーションと辞書をダウン ロードする必要があります。Aspell は aspell.net から無料でダウンロードすることができます。 Aspell のインストール方法については、Aspell のドキュメンテーションを参照してください。

Aspell を Web サーバにインストールしたら、HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定し、 Web サーバ内の Aspell のインストール場所と、使用する辞書を指定する必要があります。これ らは、"webadmin/webeditor"フォルダ配下の "config.asp"、"config.jsp"、 "config.php"ファイルで 設定されます。

構成ファイル内に、次の変数を設定してください。

spellcheckCommand	インストール溶み Asnall のフルパストフ
spenencekcommand	イマハー ル伯の Aspell シノノルハヘビノ ーノルタールボス ジルズー ルケーナ
	アイル名、及びスペルチェックで使用す
	るコマンドフインパフメータを指定しま
	す。
	デフォルトでは:
	Microsoft Windows の場合:
	"C:\Progra~1\Aspell\bin\aspell.exe — a –H"
	Linux、マッキントッシュ、Unix の場
	合:
	"/usr/bin/aspell –a –H"
	あるいは
	"/usr/local/bin/aspell –a –H"
	スペルチェックへのアクセスを無効にす
	ろにけ 空白 (***)に設定してください
spellcheckDictionary	スペルチェックに使用される辞書を指定
spellcheckDictionary	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ
spellcheckDictionary	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは・"-d"
spellcheckDictionary	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは:"-d"
spellcheckDictionary spellcheckDictionaries	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d" スペルチェックでユーザが使用可能な辞
spellcheckDictionary spellcheckDictionaries	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは:"-d" スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。
spellcheckDictionary spellcheckDictionaries	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは:"-d" スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。
spellcheckDictionary spellcheckDictionaries	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは:"-d" スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。 HTML SELECT OPTION タグとして指定
spellcheckDictionary spellcheckDictionaries	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d" スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。 HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値
spellcheckDictionary spellcheckDictionaries	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en GB"、"en US"のような言</li> </ul>
spellcheckDictionary	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード あろい</li> </ul>
spellcheckDictionary	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード、あるい</li> <li>は、"anglich" "british" "American"の上</li> </ul>
spellcheckDictionary	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード、あるい は "english"、"british"、"American"のよ うな言語々といった Amell の辞書々た使</li> </ul>
spellcheckDictionary	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード、あるい は "english"、"british"、"American"のよ うな言語名といった Aspell の辞書名を使</li> </ul>
spellcheckDictionary	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード、あるい は"english"、"british"、"American"のよ うな言語名といった Aspell の辞書名を使 用します。詳細については Aspell 辞書の</li> </ul>
spellcheckDictionary	スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d" スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。 HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード、あるい は"english"、"british"、"American" のよ うな言語名といった Aspell の辞書名を使 用します。詳細については Aspell 辞書の ドキュメンテーションをご参照くださ
spellcheckDictionary	<ul> <li>スペルチェックに使用される辞書を指定 するための、Aspell コマンドラインパラ メータです。デフォルトでは: "-d"</li> <li>スペルチェックでユーザが使用可能な辞 書。</li> <li>HTML SELECT OPTION タグとして指定 する必要があります。OPTION 値 は、"en"、"en_GB"、"en_US"のような言 語/国コード、あるい は"english"、"british"、"American" のよ うな言語名といった Aspell の辞書名を使 用します。詳細については Aspell 辞書の ドキュメンテーションをご参照くださ い。</li> </ul>



# **2.4 Amazon Web Services (AWS)** クラウドデプロイメント

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、クラウドホスティングサービスの Amazon Web Services へ容易にデプロイすることができます。使用するオペレーティングシステムとデータベースサーバ、およびサーバの数とサイズを選択して、HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージをアップロードするだけです。

#### 2.4.1 Elastic Beanstalk

Amazon Web Services (AWS) クラウドデプロイメントを使用するには、http://aws.amazon.com/ ヘアクセスしてアカウントを登録し、AWSマネジメントコンソールへ進みます。高度な要件向 けに、多くの様々な AWS クラウドサービスが用意されています。HeartCore Web コンテンツ管 理ソフトウェアは、AWS Elastic Beanstalk サービスを使用して、簡単にデプロイすることができ ます。

尚、AWSのサービスやインターフェース、およびオプションは、変更になる可能性があります のでご注意ください。詳細は、AWSの一般的なドキュメンテーションをご確認ください。



HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアをデプロイするには、まず「Create New Application (新規アプリケーションを作成)」を選択します。

Elastic Bea	anstalk		Create New Application
Contract terms Contract terms Contracts Contracts Logs Monoreg Aures Evens	алана миникана базаба миникана базаба миникана базаба миникана базаба миникана базаба миникана базаба миникана базаба миникана базаба миникана базаба база	The second secon	Welcome to AWS Elastic Beanstalk Elastic Beanstaik allows you to deploy, monitor, and grow your application quickly and easily. Let us do the heavy lifting so you can focus on your business. Select a Platform

アプリケーション名を入力します。例:WCM-JSP、WCM-NET、WCM-PHP 入力したら、「Create(作成)」をクリックします。



Hea	rtCo	re	

🧊 Services 🕶 Ec	lit ¥		Søren Vejrum	<ul> <li>Ireland +</li> </ul>	Help 🖌
∤ Elastic Beanstalk				Create New	Application
Application Info	Application Inform	ation			
Application Version Environment Info Additional Resources	To create a new application,	enter the details of your application. Learn n	ore. Must be less than 100 characters and cannot contain a /		
Configuration Details Review Information	Description:		Optional.		
				Cancel	Create

# 2.4.2 環境とプラットフォーム

HeartCoe Web コンテンツ管理デプロイメントで起動する環境タイプを選択します。

- Environment tier (環境枠)
  - o Web Server (ウェブサーバ)
- Platform  $(\mathcal{T} \not \neg \mathcal{\gamma} \land \mathcal{\gamma} \land \mathcal{\gamma} \land \mathcal{\gamma} )$  :
  - IIS
     .NET プログラミング言語バージョンの HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェア 向け
  - PHP
     PHP プログラミング言語バージョンの HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェア
     向け
  - Tomcat JSP/Java プログラミング言語バージョンの HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウ ェア向け
- Environment type (環境タイプ) :
  - Single instance (単一インスタンス)
     単一 Web サーバで、キャパシティが固定されたシンプルなセットアップ向け
  - Load balancing, autoscaling (ロードバランシング、オートスケーリング) 複数 Web サーバを使った、キャパシティに拡張性のある高度なセットアップ向け

Flastic Beanstalk WC	Create New Application				
Application Info	Environment Type				
Application Version Environment Info Additional Resources	Choose whether to launch a Launch a new environme	n environment and if so which nt running this application	h tier and type.		
Configuration Details Review Information	Environment tier:	Web Server	•	Learn more	
	Predefined configuration:	Select a Platform	•	Looking for a different platform? Let us know.	
	Environment type:	Single instance	•	Learn more	
					Cancel Continue



#### 2.4.3 アップロード

HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージの ZIP ファイルをアップロードします。 アップロードしたソフトウェアパッケージは、選択したプラットフォームに合致しなければい

けません。即ち、HeartCoreWCM.net.zip は IIS、HeartCoreWCM.php.zip は PHP、

HeartCoreWCM.jsp.zip は Tomcat です。お使いのインターネット接続スピードによっては、アップロードに数分掛かる場合があります。

Lastic Beanstalk WCM-JSP - C						
Application Info Environment Type	Application Version					
Application Version Environment Info Additional Resources Configuration Details Review Information	Select a source for your application version. Source: © Sample application @ Upload your own Browse. No file selected.					
	Ca	ncel Back Continue				

#### **2.4.4** ドメイン名

管理目的での名前と、固有の環境 URL を入力します。この環境 URL を使って、HeartCore Web コンテンツ管理システムのデプロイメントと、ご自身の新しい Web サイトへアクセスすること ができます。(ドメイン名を後から追加することもできます。詳しくは、AWS のドキュメンテ ーション、並びにお使いのドメインネームサービスプロバイダへご確認ください。)

Lastic Beanstalk W	CM-JSP 🔻					Create	New Application
Application Info Environment Type	Environment Infor	mation					
Application Version Environment Info	Enter your environment info	rmation. Learn more.					
Additional Resources	Environment name:	wcm-jsp-mysql					
Configuration Details Review Information	Environment URL:	our-new-website	.elasticbeanstalk.com	Check availability			
	Description:		Optional: 200 characte	r maximum			
					Cancel	Back	Continue

#### **2.4.5** データベース

HeartCore Web コンテンツ管理システムでは、Web サイトコンテンツや他のデータを保管するため、データベースサーバインスタンスが必要です。

Elastic Beanstalk WC	M-JSP 🔻		Create I	New Application
Application Info Environment Type	Additional Resources			
Application Version				
Environment Info	Select additional resources for this environment.			
Additional Resources	Create an RDS DB Instance with this environment Learn more			
Configuration Details	Create this environment inside a VPC Learn more			
RDS Configuration				
Review Information		Cancel	Back	Continue

#### 2.4.6 ハードウェア

デプロイした Web サーバに使用するインスタンスタイプ(ハードウェアのキャパシティ)を選択します。キャパシティと価格についての詳細は、AWSのドキュメンテーションをご参照ください。



任意で、デプロイしたサーバや、Eメール通知、アプリケーションヘルスチェックモニタリン グへのリモートログインを有効化することも可能です。

Elastic Beanstalk WC	M-JSP 🔻	Create New Application
Application Info Environment Type Application Version	Configuration Deta	ails
Environment Info	Modify the following settings	or click Continue to accept the default configuration. Learn more.
Additional Resources	Instance type:	t1.micro
Configuration Details		Determines the processing power of the servers in your environment.
RDS Configuration Review Information	EC2 key pair:	Select a key pair Refresh C Optional: Enables remote login to your instances.
	Email address:	Optional: Get notified about any major changes to your environment.
	Application health check URL:	Enter the relative URL that ELB continually monitors to ensure your application is available.
	Enable rolling updates:	Lets you control how changes to the environment's instances are propagated. Learn more.
	Instance profile:	aws-elasticbeanstaik-ec2-role         Refresh C           Grants your environment specific permissions under your AWS account. Learn more.
		Cancel Back Continue

#### 2.4.7 データベースサーバ

デプロイしたデータベースサーバに使用するデータベースサーバエンジン(mysql、postgres、 oracle、sqlserverのいずれか)、およびインスタンスクラス(ハードウェアキャパシティ)を選 択します。キャパシティと価格についての詳細は、AWSのドキュメンテーションをご参照くだ さい。

そして、割り当てる容量、およびユーザ名とパスワードを入力します。

重要:下記、保持設定オプションの違いについてご認識ください。

#### • Retention Setting (保持設定)

o Delete (削除)

非推奨

Web サイトコンテンツや他のデータも含め、すべてのデータベースサーバデータ が、環境終了時に削除されます。一時的な検証のためのデプロイメントでは良いか もしれませんが、本番のデプロイメントでは、この設定は避けるべきです。

o Create snapshot (スナップショットを作成)

推奨

Web サイトコンテンツや他のデータも含め、すべてのデータベースサーバデータの スナップショット(バックアップ)が、環境終了時に作成されます。永続的な検証 や開発のデプロイメント、および本番のデプロイメントでは、常にこの設定を選択 すべきです。



••••••

UM-J5P ¥	Ci	eate New Application
RDS Configuratio	n	
Specify your RDS settings	Learn more	
Snapshot:	None Refresh 2	
DB engine:	mysql Refresh 🕽	
Instance class:	db t1 micro Refresh 2	
Allocated storage:	GB You must specify a value from 5 GB to 1024 GB	
Username:		
Password:		
Retention setting:	Delete  Your RDS DB instance will be deleted if you terminate the environment. Choose create snapshot to save y	rour data.
Availability:	Single Availability Zone	
	RDS Configuratio	RDS Configuration         Specify your RDS settings. Learn more.         Snapshot:       None         Delengine:       mysql         Instance class:       db11 micro         Instance class:       db11 micro         Allocated storage:       GB         You must specify a value from 5 GB to 1024 GB.         Username:

# 2.4.8 デプロイメント

# 最後に、デプロイメント設定を確認して実行します。

Elastic Beanstalk WC	CM-JSP 🔻	Create New Applicati
Application Info	Review	
Environment Type		
Environment Info	Review the following inform	ation. Then click Create.
dditional Resources		
Configuration Details	Application Info	
DS Configuration	Application name	WCM-JSP
eview Information		
	Environment Type	
	Container type	64bit Amazon Linux 2014.02 running Tomcat 7 Java 7
	Environment type	Load balancing, autoscaling
	Tier	Web Server
	Application Version	
	Application source	Ashridd/CM iso zin
	Application source	Assistance Table b
	Environment Info	
	Environment name	wcm-jsp-mysql
	Environment URL	http://our-new-website.elasticbeanstalk.com
	Configuration Details	i de la construcción de la constru
	Instance type	t1.micro
	Instance profile	aws-elasticbeanstalk-ec2-role
	Key pair	
	Email address	
	Application health	
	check URL	
	RDS Configuration	
	105 Coniguration	
	DB engine	mysql
	Instance class	db.t1.micro
	Allocated storage	5
	Deletion policy	Create snapshot
		Cancel Back Create



HeartCore Web コンテンツ管理システムの Web サイト環境のデプロイメントが開始されます。 セットアップによっては、数分掛かる場合もあります。

Flastic Beanstalk	WCM-JSP -				Create New Environment
	6	I <b>nfo</b> Elastic Beanstalk is no	w creating yo	× bur environment. When it has finished it will be running First Release.	
WCM-JSP • w	/cm-jsp (our-new	-website.elasticbeanstal	k.com )		Actions -
Dashboard Configuration Logs Monitoring Alarms	Overview	Healt Launch Monit	h ing or	Running Version Upload and Deploy	Configuration Tomcat 7 Java 7
Events	Recent Ev	rents	Туре	Details	Show All
	2014-03-10	0 16:26:58 UTC+0000	INFO	createEnvironment is starting.	

デプロイメントが完了すると、Web サーバとデータベースサーバが起動します。

Flastic Beanstalk	WCM-JSP -			Create New Environment
WCM-JSP ▶ w	Info Elastic Beanstalk is /cm-jsp-mysql (our-new-website elk	now creating y isticbeanstalk.	× our environment. When it has finished it will be running First Release.	Actions •
Dashboard	Overview			€ Refresh
Logs Monitoring Alarms	Grie Mor	alth een litor	Running Version First Release Upload and Deploy	Configuration Tomcat 7 Java 7 Edit
Events	Recent Events			Show All
	Time	Туре	Details	
	2014-03-10 17:46:41 UTC+0000	INFO	Environment health has transitioned from RED to GREEN	
	2014-03-10 17:46:30 UTC+0000	WARN	Environment health has been set to RED	
	2014-03-10 17:46:26 UTC+0000	INFO	Successfully launched environment: wcm-jsp-mysql	

ご自身で指定した環境 URL (例: <u>http://our-new-website.elasticbeanstalk.com/</u>) ヘアクセスする と、HeartCore Web コンテンツ管理のクイックスタート設定が表示されます。

<u>重要:デプロイした Web サーバには、永続的なファイルストレージや共有ファイルストレージ</u> <u>は存在しません。複数の Web サーバをデプロイしている場合、アップロードしたイメージやフ</u> <u>ァイルは、いずれか 1 つの Web サーバでのみ使用可能な状態です。Web サーバの再起動や停止</u> <u>を行うと、すべてのイメージやファイルを失う可能性があります。</u> <u>従って、必ず、クラウドストレージサービスを使用するよう、デプロイ環境もしくは</u> HeartCore Web コンテンツ管理システムの設定を行ってください。

#### 2.4.9 クラウドストレージ

デプロイした環境用に必要なクラウドストレージサービスの設定を行うことを、強く推奨します。



「Configuration (設定)」を選択します。

∤ Elastic Beanstalk	WCM-JSP -				Crea	te New Environment
WCM-JSP > w	/cm-jsp-mysql (our-new-website.elasticbea	instalk.cor	n )			Actions -
Dashboard Configuration	Web Tier					
Logs	Scaling	ø	Instances	- O	Notifications	0
Monitoring Alarms Events	Environment type: Load balanced, auto scaling Number instances: 1 - 4 Scale based on Average network out Add instance when > 6000000 Remove instance when < 2000000		Instance type: 11.micro Availability Zones: Any		Notifications: Off	
	Software Configuration	0	Rolling Updates	ø		
	Log publication: Off Initial JVM heap size: 256m Maximum JVM heap size: 256m Maximum JVM permanent generation 64m	size:	Rolling updates are disabled			

「Software Configuration (ソフトウェア設定)」の歯車マークをクリックして、ご自身のAWS S3 クラウドストレージサービス情報を入力してください。

AWS S3 クラウドストレージ登録についての詳細(アクセスキーの取得、バケットの作成、バケットのWeb アドレス URL 取得)は、AWS のドキュメンテーションをご参照ください。

- AWS\_ACCESS\_KEY\_ID クラウドストレージへイメージやファイルを保管するための認証ユーザ名/キー 例: 0JB41D9NP3YQFZ8G05G6
- AWS\_S3\_REGION クラウドストレージの AWS S3 リージョン 例:us-east-1
- AWS\_S3\_BUCKET クラウドストレージ上で、イメージやファイルの保管場所となるフォルダ/バケット 例: our-new-website
- AWS\_S3\_URL クラウドストレージ上に保管されたイメージやファイルへアクセスするための外部 Web ア ドレス 例: http://our-new-website.s3-website-eu-west-1.amazonaws.com/
- AWS\_SECRET\_KEY クラウドストレージへイメージやファイルを保管するための認証パスワード/シークレット
   Main shCufuDSadLasYA6sfueEnOCupNey 10EXCVW/sight
  - 例: zhCufvD8e4LasXA6zfuaEpQGyoNpx10EXCVWaiob

尚、HeartCore Web コンテンツ管理システムで使用するデータベース接続文字列に関して、特別 な要件がある場合や、データベースサーバなしで環境をデプロイして、代わりに既存のデータ ベースサーバを使用したい場合、独自のデータベース接続文字列を設定することも可能です。



Installation Guide

#### • JDBC\_CONNECTION\_STRING

HeartCore Web コンテンツ管理システムで設定される形式のデータベース接続文字列です。 通常は、データベースサーバのタイプを示す文字が先頭にある、標準的な Java/JDBC データ ベース接続文字列です。

データベース接続文字列が設定されていない場合は、HeartCore Web コンテンツ管理システ ムによって自動で生成されます。

育 Services 🗸	Edit 🗸		søren vejrum • Treland • Help •
Elastic Beanstalk V	VCM-JSP -		Create New Environme
CM-JSP 🕨 wcr	n-jsp-mysql (our-new-webs	site.elasticbeanstalk.com )	Actions -
ashboard	Container Options		
onfiguration	The following settings control	ol container behavior and let you pass key-value pairs in as OS environment variable	s. Learn more.
gs	Initial JVM heap size:	256m	of 4004 greater then 4MP. Use k or K for
onitoring		kilobytes, or m or M for megabytes. The default is 256m.	of 1024 greater than two. Use K of K for
arms	Maximum JVM heap size:	256m	
rents	·	Specify the maximum size of the memory allocation pool. This value must be a multiplication pool. The value must be a multiplication of the memory allocation pool. The value must be a multiplication of the value must be a	ple of 1024 greater than 2MB. Use k or K fo
	Maximum JVM permanent generation size:	64m Size of the permanent generation. The default is 64m.	
	JVM command line options:	Arbitrary JVM options string.	
	Log Options		
	The following settings contro	ol the log publication behavior.	
	Instance profile:	aws-elasticbeanstalk-ec2-role Refresh C	
		The instance prome drants four entrioriment specific permissions ander four rate	decount: Learn more.
	Enable log file rotation to Environment Propertie The following properties are	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.      S      passed into the application as environment variables, Learn more.	
	Enable log file rotation to Environment Propertie The following properties are Property Name	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.      S      passed into the application as environment variables. Learn more.	Property Value
	Enable log file rotation to     Environment Propertie     The following properties are     Property Name     AWS_ACCESS_KEY_ID     Specifying this and AWS_6     properties.	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.	Property Value
	<ul> <li>Enable log file rotation to</li> <li>Environment Propertie</li> <li>The following properties are</li> <li>Property Name</li> <li>AWS_ACCESS_KEY_ID</li> <li>Specifying this and AWS_S</li> <li>properties.</li> <li>AWS_S3_BUCKET</li> </ul>	D Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value
	Chable log file rotation to Environment Propertie The following properties are Property Name AWS_ACCESS_KEY_ID Specifying this and AWS_S properties. AWS_S3_BUCKET AWS_S3_URL	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S  S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value
	Carbon Content Properties Carbon Content Properties Carbon Content Properties Carbon Content Properties Carbon Content Property Name Carbon Content Property Name Carbon Content Property Name Carbon Content Properties Carbon C	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S CRET_KEY provides your credentials to your application in the environment ACCESS_KEY_ID provides your credentials to your application in the environment	Property Value
	Connection string to JDBC	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S CRET_KEY provides your credentials to your application in the environment CRIM CRESS_KEY_ID provides your credentials to your application in the environment R NG CRESS_(RES) for application use.	Property Value
	Enable log file rotation to Environment Properties The following properties are   Property Name   AWS_ACCESS_KEY_ID   Specifying this and AWS_S   properties.   AWS_S3_BUCKET   AWS_S3_URL   AWS_SS_URL   JDBC_CONNECTION_STR   Connection string to JDBC   PARAM1   A predefined environment	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value
	Enable log file rotation to Environment Propertie The following properties are Property Name AWS_ACCESS_KEY_ID Specifying this and AWS_S properties. AWS_S3_BUCKET AWS_S3_BUCKET AWS_S3_URL AWS_S3_URL AWS_S3_URL AWS_SCRET_KEY Specifying this and AWS_A properties. JDBC_CONNECTION_STR Connection string to JDBC PARAM1 A predefined environment PARAM2 A predefined environment	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value
	<ul> <li>Enable log file rotation to</li> <li>Environment Propertie</li> <li>The following properties are</li> <li>Property Name</li> <li>AWS_ACCESS_KEY_JD</li> <li>Specifying this and AWS_S</li> <li>properties.</li> <li>AWS_S3_BUCKET</li> <li>AWS_S3_URL</li> <li>AWS_S3_URL</li> <li>AWS_SCRET_KEY</li> <li>Specifying this and AWS_A</li> <li>properties.</li> <li>JDBC_CONNECTION_STR</li> <li>Connection string to JDBC</li> <li>PARAM1</li> <li>A predefined environment</li> <li>PARAM3</li> <li>A predefined environment</li> </ul>	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value
	Enable log file rotation to Environment Propertie The following properties are Property Name AWS_ACCESS_KEY_ID Specifying this and AWS_S properties. AWS_S3_BUCKET AWS_S3_BUCKET AWS_S3_URL AWS_SS_URL AWS_SECRET_KEY Specifying this and AWS_A properties. JDBC_CONNECTION_STR Connection string to JDBC PARAM1 A predefined environment PARAM2 A predefined environment PARAM3 A predefined environment PARAM4 A predefined environment	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value
	<ul> <li>Enable log file rotation to</li> <li>Environment Propertie</li> <li>The following properties are</li> <li>Property Name</li> <li>AWS_ACCESS_KEY_ID</li> <li>Specifying this and AWS_s</li> <li>properties.</li> <li>AWS_S3_BUCKET</li> <li>AWS_S3_URL</li> <li>AWS_SECRET_KEY</li> <li>Specifying this and AWS_s</li> <li>properties.</li> <li>JDBC_CONNECTION_STR</li> <li>Connection string to JDBC</li> <li>PARAM1</li> <li>A predefined environment</li> <li>PARAM3</li> <li>A predefined environment</li> <li>PARAM4</li> <li>A predefined environment</li> <li>PARAM4</li> <li>A predefined environment</li> <li>PARAM5</li> <li>A predefined environment</li> </ul>	Amazon S3. If checked, service logs are published to S3.  S S S S S S S S S S S S S S S S S S	Property Value

「Save (保存)」を選択すると、設定が更新され、Web サーバの再起動が行われます。数分掛 かる場合もあります。



∤ Elastic Beanstalk	WCM-JSP 🔻			Create New Environment
WCM-JSP • w	vcm-jsp-mysql (our-new-website.	elasticbeanstalk.	com )	Actions -
Dashboard Configuration Loas	Elastic Beanstalk is u View Events	ipdating your ei	nvironment. Additional edits can't be made at this time.	
Elastic Beanstalk	WCM-JSP -			Create New Environment
WCM-JSP > w	/cm-jsp-mysql (our-new-website.	elasticbeanstalk.	com )	Actions -
Dashboard Configuration	Overview			2 Refresh
Logs Monitoring Alarms		Health odating Ionitor	Running Version First Release Upload and Deploy	Configuration Tomcat 7 Java 7 Edit
Events	Recent Events			Show All
	Time           2014-03-10 18:39:58 UTC+00           2014-03-10 18:39:48 UTC+00	Type           000         INFO           000         INFO	Details Updating environment wcm-jsp-mysqi's configuration settings. Environment update is starting.	
∤ Elastic Beanstalk	WCM-JSP -			Create New Environment
WCM-JSP • w	vcm-jsp-mysql (our-new-website.	elasticbeanstalk.	com )	Actions -
Dashboard Configuration Logs Monitoring Alarms	Overview	Health Green Ionitor	Running Version First Release Upload and Deploy	Configuration Tomcat 7 Java 7 Edit
Events	Recent Events			Show All
	Time	Туре	Details	
	2014-03-10 18:40:47 UTC+00	000 INFO	Environment update completed successfully.	
	2014-03-10 18:40:47 UTC+00	000 INFO	Successfully deployed new configuration to environment.	
	2014-03-10 18:39:48 UTC+00	000 INFO	Environment update is starting	

#### 2.4.10 クイックスタート設定

環境の更新完了後、ご自身で指定した環境 URL(例:http://our-newwebsite.elasticbeanstalk.com/webadmin/) ヘアクセスすると、HeartCore Web コンテンツ管理のク イックスタート設定が表示されます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムのクイックスタート設定では、表示されたデータベース 接続文字列をそのまま保存してください。



トップ 閲覧&編集	設定	8		ログアウト   ヘルプ   三
HeartCore CMS				
😡 設定				
□ <mark>&gt;ステム</mark> □ >ステム	設定クイックスタート			
<ul> <li>データベース</li> <li>ライセンス</li> <li>全体管理者</li> <li>ウェブサイト</li> <li>マイクロサイト</li> <li>Eコマース</li> </ul>	5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、 はすでに設定がされている場合があります。	すぐにコンテンツの閲覧、編集ができる	ます。いくつかのステップ	
● ■ 機能設定 ● ■ コンテンツ	ステップ0:サーバー ステップ1:データベース ステップ	12: ライセンス ステップ 3: スーパーユーザ	ステップ 4: コンテン 🔉	
<ul> <li>→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →</li></ul>	データベース データベースはすでに脱定、初期化されています。 データベースのタイプを選択し、データベース名、ユーザー名、バ ください。)入力後に保存をしてください。	スワードを入力してください。(不明な場合に	はサーバー管理者に連絡して	
<ul> <li>アンケートテンプレート</li> <li>Zip Upload</li> <li>QuickSolution</li> <li>QSLicense</li> </ul>	<b>データベース接続</b> データベースのタイプ、アドレス、データベース名、ユーザ名、パ <sup>保存</sup>	スワード		
	データベース接続 mysql:com.mysql.jdbc.Driver-heartcore@jdbc:mysql://			

#### 2.4.11 接続タイムアウト

AWS Elastic Beanstalk Load Balancer サービスは、60 秒の接続タイムアウトを設けており、現在のところ、残念ながら変更は不可能です。従って、データベースの初期化やインポートといった操作も含め、Web コンテンツ管理システムへのアクセスが 60 秒以上掛かる場合は、AWS Elastic Beanstalk Load Balancer サービスによってタイムアウトとなってしまいます。

データベースの初期化やインポートが 60 秒以上掛かると接続タイムアウトとなってしまいます が、バックグランドでは処理が継続しています。Web コンテンツ管理システムのデータベース 設定画面に再びアクセスすると、初期化とインポートの処理が継続していると表示されるはず です。処理が完了すれば、Web コンテンツ管理システムを使用できるようになります。

また代わりに、Webサーバインスタンスへの直接アクセスを許可するよう、AWSクラウドサービスを設定することも可能です。詳しくは、AWSのドキュメンテーションをご参照ください。

#### **2.5 Microsoft Azure** クラウドデプロイメント

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、クラウドホスティングサービスの Microsoft Azure へ 容易にデプロイすることができます。使用するクラウドウェブサイトとデータベース、ストレ ージを作成して、HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージをアップロードするだ けです。

#### 2.5.1 Microsoft Azure

Microsoft Azure クラウドデプロイメントを使用するには、http://azure.microsoft.com/ ヘアクセス してアカウントを登録し、Microsoft Azure 管理ポータルへ進みます。高度な要件向けに、多く の様々な Azure クラウドサービスが用意されています。HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウ ェアは、Azure Website サービスを使用して簡単にデプロイすることが可能です。

Azure の各種サービスやユーザインターフェース、オプションは変更になる可能性がありますの でご注意ください。詳しくは、一般的な Azure 文献をご参照ください。



Microsoft Azure 🛛 🗸				ŧ	
ALL ITEMS	all items				
	NAME	ТУРЕ	STATUS 5	SUBSCRIPTION	LOCATION D
	Default Directory	→ Directory	🗸 Active 🕴	Shared by all Default Di	Europe, United Stat
DB SQL DATABASES					
STORAGE 0					
					0

HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアをデプロイするには、「Websites(ウェブサイト)」を選択した後、「Create A Website(ウェブサイトを作成)」を選択します。



ご自身の Web サイトの URL を入力します。(これは、初期デプロイメント URL / 初期管理 URL です。その他の URL は後で追加可能です。)



. . . . . . . . .

🛞 WEBSITES				
<b>9</b> •	You have no website:	s. Create one to ge	et started!	
VIRTUAL MACHINES	CREATE A WEBSITE \ominus			
MOBILE SERVICES				
NEW				×
СОМРИТЕ	WEBSITE	👂 QUICK CREATE	uRL asbruwcm	
DATA SERVICES	VIRTUAL MACHINE	CUSTOM CREATE	.azurewebsites.net	
APP SERVICES	MOBILE SERVICE	FROM GALLERY	Create new web hosting plan	
NETWORK SERVICES			PEGION	
MARKETPLACE PREVIEW			South Central US 🔹	

数分で新しい Web サイトの作成が完了し、起動状態となります。

Microsoft Azure 🛛 🗸					•	
ALL ITEMS	websites					
	NAME	STATUS	SUBSCRIPTION	LOCATION MO	DE URL	Q
	asbruwcm	→ ✓ Running	Pay-As-You-Go	South Central US Free	asbruwcm.azurewebsites.net	
DB SQL DATABASES						
STORAGE 0						
	NE					
NEW	Бъ Полит			Ū		1 \Xi 🕜



	ASDRUWCM	
asbruwcm	📀 CPU TIME 🔮 DATA IN 🔮 DATA OUT 🔮 HTTP SERVER ERRORS 💿 REQUESTS	RELATIVE 🗸 1 HOUR 🗸 🖑
DB		
	840 845 850 855 900 905 910 915 920	9.25 9.30 9.35 9.40
 @		
	You have not configured a web endpoint for monitoring. Configure one to get started	quick glance
<b>e</b>	CONFIGURE WEB ENDPOINT MONITORING →	Visit the new portal PREVIEW
₿ L		View Applicable Applications and services
	autoscale status	(i) View connection strings
	With a Standard website, you can configure autoscale and spend only as much as you need for your service.	Download the publish profile
7	CONFIGURE AUTOSCALE	Reset your deployment credentials
<u></u>	AUTOSCALE OPERATION LOGS	Reset your publish profile credentials
<del></del> ም		Set up deployment from source

#### 2.5.2 データベース

HeartCore Web コンテンツ管理システムには、ウェブサイトのコンテンツや他のデータを保管するためのデータベースサーバーインスタンスが必要です。

「Linked Resources (接続リソース)」より、データベースを作成して Azure ウェブサイトに関 連付けを行います。





「Link A Resource (リソースに接続)」を選択し、次に「Create A New Resource (新規リソース を作成)」を選択し、そして「SQL Database」を選択して、Azure Web サイトおよび HeartCore Web コンテンツ管理システム用にデータベースを作成します。



データベースの名前とログイン名、ログインパスワードを入力します。



	DASHBUARD MONETOR WEDDODS COMPAGINE SCALE ENVILUE RESOURCES BACKUPS	
asbruwcm	You have no linked resources. Link one to get started!	
	LINK A NEW DATABASE	
	Specify database settings	
	NAME	
	asbruwcm_db	
	SERVER	
	New SQL database server	
	SERVER LOGIN NAME	
	SERVER LOGIN PASSWORD CONFIRM PASSWORD	
	••••••	
	REGION	
	South Central US	
	CONFIGURE ADVANCED DATABASE SETTINGS	

数分でデータベースの作成が完了し、起動状態となります。

Microsoft Azure 🛛 🗸				$\oplus$	
	asbruwcm				
$\otimes$	A DASHBOARD MONITOR	WEBJOBS CONFIGURE SC	ALE LINKED RESOURCES BACKUPS		
asbruwcm	NAME	ТУРЕ	STATUS	SUBSCRIPTION	ρ
	asbruwcm_db	SQL Database	✔ Linked	Pay-As-You-Go	
40 <sup>0</sup>					
DB					
1999 - Carlos Ca					
$\odot$					
₽ <u></u>					
M					
			R	7 =	2

# 2.5.3 クラウドストレージ

HeartCore Web コンテンツ管理システムには、ウェブサイトのイメージや他のファイルを保管するためのストレージも必要です。



「Linked Resources (接続リソース)」より、ストレージを作成して Azure ウェブサイトに関連 付けを行います。

「Link(リンク)」を選択し、次に「Create A New Resource(新規リソースを作成)」を選択 し、そして「Storage Account(ストレージアカウント)」を選択して、Azure Web サイトおよび HeartCore Web コンテンツ管理システム用にストレージを作成します。



			•
	▲ DASHBOARD MONITOR WEBJOBS CONFIGURE SO	TALE LINKED RESOURCES BACKUPS	
asbruwcm	ламе түре		SUBSCRIPTION P
	LINK A RESOURCE	×	Pay-As-You-Go
	Add a resource to your appl	lication	
	SQL Database		
	✓ MySQL Database		
	Storage Account		
		ØØ	
	2	12	
NEW			



asbruwcm	A DASHBOARD MONITOP	R WEBJOBS CONFIGURE S	CALE LINKED RESOURCES	BACKUPS	SCRIPTION	م
	Link a New uri sotruwom Location/affinity gro West US I Enable geo-replica	Storage Accoun	t pre.windows.net	×		
	1 2			$\mathbf{E}$		

Microsoft Azure 🛛 🗸				•	
	asbruwcm				
$\otimes$	A DASHBOARD MONITOR	WEBJOBS CONFIGURE SCA	LE LINKED RESOURCES BACKUPS		
asbruwcm	NAME	ТУРЕ	STATUS	SUBSCRIPTION	ρ
•	asbruwcm asbruwcm_db	Storage SQL Database	✓ Linked ✓ Linked	Pay-As-You-Go Pay-As-You-Go	
<b>1</b>					
$\odot$					
<b>6</b>					
<u> </u>					
		eP "i	2		•

作成されたストレージ名を選択して、ストレージ管理へアクセスします。

数分でストレージの作成が完了し、起動状態となります。





「Manage Access Keys(アクセスキーの管理)」を選択し、表示されるストレージアカウント名 と、アクセスキー(プライマリもしくはセカンダリ)を書き留めておいてください。HeartCore Web コンテンツ管理システムがストレージにアクセスする際に必要となります。

Microsoft Azure 🗸 🗸		
	asbruwcm	
Abruven	• Compare and explores the point of the poi	* in created! started.
+ NEW		2 🗮 🖉

「Containers(コンテナ)」を選択し、次に「Create A Container(コンテナを作成)」を選択 し、ストレージコンテナを作成します。ストレージコンテナは、HeartCore Web コンテンツ管理 システムに必須です。





新規コンテナの「Access(アクセス)」は、通常「Public Blob」を選択します。

代わりに「Private」を選択しても構いませんが、その場合、プログラムスクリプトを使ったイ メージやファイルの配信ができるよう、HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定する必要 があります。詳細は、設定ガイドをご参照ください。

Microsoft Azure 🗸 🗸		<b>(</b> )
asbruwcm		
-	× New container	
DB	NAME	
	asbruwcm	
(P)	Public Blob	
٢		
Ê7	$\odot$	
ф. З		
New	+ / Ü	0

数秒でストレージコンテナの作成が完了し、使用可能な状態になります。



Microsoft Azure 🛛 🗸					•
	asbruwcm				
$\otimes$	42 DASHBOARD MONITOR	CONFIGURE CONTAINERS	IMPORT/EXPORT		
asbruwcm	NAME	URL		LAST MODIFIED	
•	asbruwcm	→ https://asbruw	cm.blob.core.windows.net/asbruwcm	3/24/2015 3:18:27 PM	
<u>~</u>					
DB					
(P)					
0					
卽					
( <sup>4</sup> )					
		+ /	ń		
NEW		ADD EDIT	DELETE		3 📃 😗

# 2.5.4 設定

Azure Web サイトは、デフォルトでは HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアの.NET および PHP バージョンを起動するよう設定されています。任意で、Java/JSP バージョンを起動するよう設定することも可能です。その他にも様々な設定オプションが用意されています。詳しくは、一般的な Azure 文献をご参照ください。

「Configure(設定)」を選択して、HeartCore Web コンテンツ管理システムに必要なアプリケーション設定や接続文字列設定を行います。

	asbruwcm	
$\otimes$	ASHBOARD MONITOR WEBJOBS CONFIGURE SCALE LINKED RESOURCES BACKUPS	
asbruwcm	O CPU TIME       O DATA IN       O DATA OUT       O HTTP SERVER ERRORS       O REQUESTS 2 MORE      A4.11 s     A4.11	RELATIVE 🗸 1 HOUR 🗸 🖑
	340.34 KB	
<b>~</b>		
DB		
	225 230 235 240 245 250 255 300 305	3:10 3:15 3:20 3:25
1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 -	web endpoint status RERAIN	quick glance
0	You have not configured a web endpoint for monitoring. Configure one to get started.	Visit the new portal PREVIEW
₽	CONFIGURE WEB ENDPOINT MONITORING (↔)	<ul> <li>View Applicable Applications and services</li> </ul>
$\bowtie$	autoscale status	(i) View connection strings
	With a Standard website, you can configure autoscale and spend only as much as you need for your service.	Download the publish profile
		Reset your deployment credentials
<u>688</u>	AUTOSCALE OPERATION LOGS (→)	Reset your publish profile credentials
<u>~</u>	usage overview	Set up deployment from source control



	disbrawent	
®	Ashboard Monitor Webjobs Configure Scale Linked Resource	CES BACKUPS
asbruwcm		
•	general 	0
	NET FRAMEWORK VERSION V3.5 V4.5	
DB		
	PHP VERSION OFF 5.4 5.5 5.6	
(P)		
0	JAVA VERSION OFF 1.7.0_51	
<u>ل</u>		
$\mathbf{A}$	PYTHON VERSION OFF 2.7 3.4	
æ	MANAGED PIPELINE MODE CLASSIC INTEGRATED	
~		

以下のキーと値を、「App Settings(アプリケーション設定)」セクションに入力して、「Select (保存)」を選択します。

- AZURE\_BLOB\_ACCOUNTNAME 先ほど設定した Azure ストレージアカウント名
- AZUE\_BLOB\_ACCESSKEY
   先ほど書き留めておいた Azure ストレージアカウントのアクセスキー
- AZURE\_BLOB\_CONTAINER
   先ほど設定した Azure ストレージコンテナ名
- AZURE\_BLOB\_URL Azure ストレージョンテナ用の Web サイトアドレス URL (https://ACCOUNTNAME.blob.core.windows.net/CONTAINERNAME)

データベースは、「Connection Strings(接続文字列)」セクションにて、既に自動設定されています。



	ann settings			
$\overline{\mathbf{S}}$	app settings			0
asbruwcm	WEBSITE_NODE_DEFAULT_VER	SION	0.10.32	
4	AZURE_BLOB_ACCOUNTNAME		asbruwcm	
	AZURE_BLOB_ACCESSKEY		p9N5UpIRIPdkdcO/eGzSeHOkyxa3evGv/ruDt52ntKm/BSSkVRQEu	WY
5	AZURE_BLOB_CONTAINER		asbruwcm	
	AZURE_BLOB_URL		https://asbruwcm.blob.core.windows.net/asbruwcm	
B	KEY		VALUE	
	connection strings	den. Show Connection Strings		0
	connection strings The connection strings are hid asbruwcm_db	den. Show Connection Strings <hidden for="" pu<="" security="" td=""><td>rposes&gt; SQL Database</td><td>Ø</td></hidden>	rposes> SQL Database	Ø
	connection strings The connection strings are hid asbruwcm_db MAME	den. Show Connection Strings <hidden for="" pu<br="" security="">VALUE</hidden>	rposes> SQL Database v	0
	connection strings The connection strings are hid asbruwcm_db [M4ME	den. Show Connection Strings <hidden for="" pu<br="" security="">VALUE</hidden>	rposes> SQL Database v	0
	connection strings The connection strings are hid asbruwcm_db NAME default documents	den. Show Connection Strings - Hidden for security pu   VALUE	rposes> SQL Database SQL Database v	0

# 2.5.5 ハードウェア

デフォルトでは、Azure Web サイトは「Free」Web サイトとして作成されます。「Free」Web サイトは、他の Azure Web サイトとの共有サーバー上で動いており、機能やリソースも制限されます。アクセス数の少ない小規模Web サイトでの使用、あるいは開発や検証目的での使用以外には適していません。本番Web サイト用には、「Basic」か「Standard」にアップグレードするべきです。専用リソースが使用可能となり、また、容量や性能、可用性などを向上するためにWeb サイトをスケールして複数インスタンスを起動できるようになります。

デフォルトでは、Azure データベースは「Basic」データベースとして作成されます。「Basic」 データベースは、小規模で単一操作しか発生しないようなデータベースには向いていますが、 それ以外には適していません。本番 Web サイト用には、「Standard」か「Premium」にアップグ レードするべきです。大規模データベースや、複数の同時トランザクションとユーザに対応し ています。



licrosoft Azure 🛛 🗸			•
	asbruwcm		
	42 DASHBOARD MONITOR WEBJOBS CONFIGURE SCAL	LE LINKED RESOURCES BACKUPS	
asbruwcm			
	web hosting plan mode		
•	WEB HOSTING PLAN MODE FREE SHARED BASIC STA	INDARD	0
в			
	WEB HOSTING PLAN SITES asbruwcm		
2			
	capacity		
2	With a Standard website, you can configure autoscale and spend only as	much as you need for your service.	
0	INSTANCE COUNT	1 instances	0
	ASBRUWCM AVAILABLE		
3			
3	linked resources		
3	ASBRUWCM_DB Manage scale for this databa SQL DATABASE	ase	
<b>3</b>			
Y			

#### **2.5.6** アップロード

HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージの ZIP 圧縮ファイルアーカイブは、解凍 して、中に含まれているファイルやフォルダを Azure Web サイトへアップロードする必要があ ります。アップロードしたソフトウェアパッケージは、選択したプラットフォームと合致する ことを確認してください。

HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージのファイルやフォルダは、FTP ソフトウ ェアクライアントを使って Azure Web サイトへアップロードすることが可能です。 *任意で、ソースコントロールシステムを使用することも可能です。詳しくは、一般的な Azure 文 献をご参照ください。* 

「Reset Your Deployment Credentials(デプロイメント認証情報をリセット)」を選択して、FTP 経由で Azure Web サイトにアクセスするためのユーザ名とパスワードを入力します。







「FTP/FTPS Host Name」を書き留めておいてください。Azure Web サイトへアクセスする際 に、先程の FTP ユーザ名とパスワードと共に必要になります。(注意:FTP ユーザ名は、入力 した FTP ユーザ名のままではなく、Azure 管理ページに記載されている通り 「WEBSITENAME\FTPUSERNAME」となります。)



	CPU TIME - MINUTE LI	MIT (RESETS IN 5 MINUTES)		0% of 3 MINUTES / 5 MINUTES	No IP-based SSL binding is configured
$\mathbf{S}$	9.26 MB				SITE URL asbruwcm.azurewebsites.net
asbruwcm	DATA OUT (RESETS IN	8 HOURS 17 MINUTES)		6% of 165 MB / DAY	COMPUTE MODE
	0.22 MB				FTP HOST NAME
	FILE SYSTEM STORAGE	<u>.</u>		<b>0%</b> of 1024 MB	ftp://waws- prod-sn1-003.ftp.azurewebsites.windows.n et
			449.29 MB		FTPS HOST NAME
	MEMORY USAGE (RES	ETS IN 17 MINUTES)		44% of 1024 MB / HOUR	ftps://waws- prod-sn1-003.ftp.azurewebsites.windows.n et
					DEPLOYMENT / FTP USER
2	SIZE FOR ASBRUWCM	DB		0% of 2048 MB	asbruwcm\administrator
	linked resource	s			FTP DIAGNOSTIC LOGS ftp://waws-
	NAME	TYPE	STATUS	SUBSCRIPTION	prod-sn1-003.ftp.azurewebsites.windows.n et/LogFiles
	asbruwcm	Storage	V Linked	Pay-As-You-Go	FTPS DIAGNOSTIC LOGS
	asbruwcm_db	SQL Database	🗸 Linked	Pay-As-You-Go	prod-sn1-003.ftp.azurewebsites.windows.n et/LogFiles
-					LOCATION
<u>}</u>					South Central US
2					SUBSCRIPTION NAME Pay-As-You-Go

HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージのファイルとフォルダは、Azure Web サイトの「/site/wwwroot/」フォルダ(.NET および PHP)、もしくは

「/site/wwwroot/webapps/ROOT/」フォルダにアップロードしてください。これらのフォルダは、「config.aspx」/「config.jsp」/「config.php」と「index.aspx」/「index.jsp」/「index.php」ファイル、並びに「App\_Code」と「webadmin」フォルダが配置される場所です。HeartCore Web コンテンツ管理ソフトウェアパッケージの全てのファイルとフォルダをアップロードする必要がありますのでご注意ください。

お使いのインターネット接続スピードによっては、ソフトウェアパッケージのアップロードに 数分を要する可能性があります。

#### 2.5.7 クイックスタート設定

ソフトウェアのアップロードが完了すると、Web サーバーおよびデータベースサーバーが起動 状態となり、Azure Web サイト URL (例:http://our-new-website.azurewebsites.net/webadmin/)に てアクセスできるようになります。アクセスすると、HeartCore Web コンテンツ管理システムの クイックスタート設定が表示されます。

クイックスタート設定では、表示されるデータベース接続文字列をそのまま保存してください。



# 3 クイックスタート設定

HeartCoreWeb コンテンツ管理システムは純正のWebアプリケーションですので、いずれかの使用可能なプログラミング言語バージョンに対応しているWebサーバであれば動作します。またそれとは別に、いくつか特別な要件、主にはWebサーバ上で正しい位置にインストールすることと、HeartCoreWebコンテンツ管理システムがサーバ上でファイルを作成および書き込みできる許可を持っていることなどがあります。

クイックスタート設定 Web ページでは、HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定、使用 開始するためのいくつかの簡単なステップを案内します。設定が必要な次のステップが表示さ れます。例えば、データベース接続文字列、ライセンスキー、スーパーアドミン、連絡先詳 細、Web サイトの初期容量といった、クイックスタート設定に必要な詳細事項を選択/入力し てください。

ひとつのステップを完了するか、もしくは左メニューのホームをクリックすると、クイックス タート設定 Webページに戻り、次のステップに進みます。

これらのステップが完了すると、クイックスタート設定ページではなく、HeartCore Web コンテンツ管理のメインページが表示されます。

#### 3.1 サーバ

HeartCoreWeb コンテンツ管理システムは純正のWebアプリケーションですので、いずれかの使用可能なプログラミング言語バージョンに対応しているWebサーバであれば動作します。またそれとは別に、いくつか特別な要件、主にはWebサーバ上で正しい位置にインストールすることと、HeartCoreWebコンテンツ管理システムがサーバ上でファイルを作成および記述するための許可を持っていることなどがあります。

サーバのクイックスタート設定は、様々に異なるサーバ設定と条件を一覧にしチェックしま す。

- HeartCore Web コンテンツ管理システムインストール HeartCore Web コンテンツ管理システムソフトウェアは、Web サイトの home/root folder、即 ちお客様のWeb サイトドメイン名アドレス「<u>www.yourwebsite.com</u>」が示しているWeb サー バ上のフォルダにインストールされていなければなりません。それにより、 「<u>http://www.yourwebsite.com/webadmin/</u>」でWeb コンテンツ管理システムの管理Webペー ジへアクセス可能となります。
- HeartCore Web コンテンツ管理システム設定 HeartCore Web コンテンツ管理システムは、たくさんの設定ファイルを使用しますが、それ らは少なくとも、HeartCore Web コンテンツ管理システムの初期設定段階において、作成お よび書き込み権限を持っている必要があります。
- Webサイトファイル作成および書き込み権限 HeartCore Webコンテンツ管理システムは、Webサイトに画像やその他のファイルをアップ ロード出来るよう、「画像」、「ファイル」、「アップロード」における作成権限と書き 込み権限を持っている必要があります。「products.html」などの静的ファイル名をWebサイ ト上で公開するには、HeartCore Webコンテンツ管理システムはWebサイトホーム/ルート フォルダ、または他のフォルダにおいて、静的ファイル名に公開されたコンテンツに対



し、ファイルを作成/書き込みできる権限を持っている必要があります。

HeartCore Web コンテンツ管理システムのサーバチェックで赤文字の警告が出た場合、Web サーバの設定、もしくは HeartCore Web コンテンツ管理システムのインストールをチェックし変更する必要があります。さらに、HeartCore Web コンテンツ管理システムにより、黄色字で、制限における警告文などが報告される場合があります。

トップ 閲覧&編集				设定		次のユーザでログ	ダインされています: admin 去	ログアウト   ヘルプ   三
HeartCore CMS								
② 設定 ○ 22.57A - ○ 22.57A - ○ 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -	<b>設定ク</b> 5つの間 設定がる	オ <b>ックスタート</b> <sup>簡単なステップで、 いる場合があ</sup>	新しいWebサイトが立ち ります。	上がり、すぐにコンテ	ンツの閲覧、編集ができま	ミす。 いくつかのステッ	,プはすでに	
<ul> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>C</li> <li>C</li></ul>	<	ステップ0: サーバー	ステップ 1: データベース	ステップ 2: ライセンス	ステップ 3: スーパーユーザ	ステップ 4: コンテンツ	ステッ	
	サ—, web⊐ о w к о w к о w к о w к о w	パー ・バーとHeartCoreのII ンテンツ管理システム ebサイトホーム/ルー ebサイト管理フォルダ・ ebサイト管理 言語フ ebサイト管理 Webサ	設定が問題無いかどうかチ <b>:</b> インストール トフォルダー: / ー: / アイル: / INF/classes. イトURL: http://	ニックをしてください。 ー hardcore.properties /webadmi	/webapps/ROC /webapps/ROC /webapps/ROC n/	)T T/webadmin/ )T/WEB-		
	Web⊐ OW K OW K OW K	<b>ンテンツ管理システム</b> ebサイト管理 設定フ ebサイト設定ファイル ebサイトデフォルトの	<b>設定</b> アイ: / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		/webapps/ROC /webapps/ROC /webapps/ROC	)T/ini.webadmin.jsp )T/ini.jsp )T/defaults.jsp		
	Webサ OW K	<b>イトファイルの作成・</b> ebサイトホーム/ルー	<b>書き込み権限</b> トフォルダー: /		/webapps/ROC	T		

#### 3.2 データベース

HeartCore Web コンテンツ管理システムはデータベース主導型です。はじめの大切な設定ステッ プとして、HeartCore Web コンテンツ管理システムが使用するデータベースを設定します。 HeartCore Web コンテンツ管設定の場合には、操作のすべてにエラーが出てしまうか、デフォル トのテンポラリーデータベースのみに適合され、後にデータを失う可能性があります。

Web コンテンツ管理システムは、データベースのタイプ、データベース名、データベースの場所、データベースへの接続方法、データベースに接続するためのユーザ名とパスワード、を定義するデータベース接続文字列の設定が必要です。

まず初めに、お持ちの一般的なシステム/データベース管理ツールにて Web コンテンツ管理シ ステムで使用するデータベースを作成する必要があります、もしくは Web ホスティング サービ スプロバイダ/システム管理者よりデータベース詳細情報が提供されます。

データベースクイックスタート設定には、様々なタイプのデータベース用に多くの異なるデー タベース接続オプションが一覧表示されます。ご利用になるデータベースに適したオプション を選択してください。選択されたデータベースタイプとデータベース接続用の正しいフォーマ ットのデータベース接続文字列がセットされます。その後、実際のデータベースに合致するよ うこのデータベース接続文字列のデータベース名、アドレス、ユーザ名とパスワードを変更 し、「保存」を選択します。

様々なデータベース接続オプションの詳細については、後述するデータベース設定セクション を参照してください。システムの違いのため、データベース設定は、HeartCore Web コンテンツ 管理システムに使用するオペレーティングシステム、プログラミング/スクリプト言語、デー タベースプロダクトによって異なります。ご使用の言語に応じて、3.2.1.NET 用データベース接



続、3.2.2JSP 用データベース接続、3.2.3PHP 用データベース接続の項をそれぞれご参照ください。最後に、3.2.4 データベース接続文字列も続けてご覧下さい。

トップ 閲覧 & 編集	設定		次のユーザでログインされています: admin	ログアウト   ヘルプ   三
HeartCore CMS				
😨 設定				
<ul> <li>システム</li> <li>システム</li> <li>システム</li> <li>ライセンス</li> <li>ライセンス</li> <li>ウェブサイト</li> <li>マイクロサイト</li> <li>マイクロサイト</li> </ul>	<b>設定クイックスタート</b> 5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立: はすでに設定がされている場合があります。	ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集;	ができます。いくつかのステップ	
G 副報設定     G コンテンツ     G コンテンツ     G コンテンツ     G コンテンツ     G コンーン     G コマース     G コマース     Facebook投稿     HTML-Lin設定     Sルマガン/ループ管理     メルマガン/パン一プ管理     マンケートランブレート     Zip Uplagiz     OuckSolution     QuickSolution     OuckSolution	ステップ0: サーバー ステップ1: データベース          データベース         データベースはすでに設定、初期化されています。         データベースのタイプを選択し、データベース名、ユーください。)入力後に保存をしてください。         データベース接続         データベースのタイブ、アドレス、データベース名、ユーなが         室作         データベース接続         データベース支援続         データベース接続         データベース支援続         データベース支援続	ステップ2: ライセンス マテップ3: スーパー ・ザー名、パスワードを入力してください。(不明 ーザ名、パスワード	-ユーザ ステップ4:コンテン ♪ な場合はサーバー管理者に連絡して	

#### 3.2.1 .NET 用データベース接続

プログラミング/スクリプト言語が.NET の場合、直接データベースにアクセスするか、ODBC データソース (DSN) 経由でアクセスするかを選びます。

HeartCore コンテンツ管理システムは、指定されたデータベースドライバを使って、サポートしている全てのデータベース製品にアクセスすることができます。データベースに直接接続するには、Webホスティングプロバイダよりデータベースインスタンスに接続するためのユーザ名やパスワードおよびデータベースインスタンス名を入手する必要があります。Webホスティングプロバイダは、使用するネイティブデータベースドライバをインストールし設定しておく必要があります。デフォルトのダイレクトデータベースドライバ設定オプションは、すべてのデータベースサーバに提供されているわけではありませんのでご注意ください。その他のデータベースサーバおよびドライバについては、お使いのデータベースサーバおよびドライバのデータベース接続文字列の詳細を確認し、"mssql:"、"mysql:"、"oracle:"、"db2:" あるいは"pgsql:"をデータベース接続文字列の前に入れてください。

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、ODBC データソース (DSN) 経由で、サポートしてい る全てのデータベース製品にアクセスすることができます。ODBC データソース (DSN) 経由で データベースにアクセスするには、Web ホスティングプロバイダがデータベースサーバ上で ODBC データソース (DSN) を設定し、データベースインスタンスに接続するためのユーザ名や パスワードおよび ODBC データソース名(DSN) が必要です。

HeartCore Web コンテンツ管理システムにおいて、ネイティブデータベースドライバ経由でデー タベースインスタンスに直接アクセスする設定をするには、下記のオプションより一つを選択 して下さい。

- Microsoft SQL Server
- MySQL Database Server
- Oracle Database Server
- IBM DB2 Universal Database Server



• PostgreSQL Database Server

ODBC データソース (DSN) 経由でデータベースにアクセスするように HeartCore Web コンテン ツ管理システムを設定するには、「システム」メニューの「データベース」セクションで、お 使いのデータベース製品に該当するものを下記より一つ選択してください。

- Microsoft SQL Server ODBC Data Source Name (DSN)
- MySQL Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- Oracle Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- IBM DB2 Universal Server ODBC Data Source Name (DSN)
- PostgreSQL Database Server ODBC Data Source Name (DSN)

データベースサーバを選んだら、「3.2.4 データベース接続文字列」に記載されているように、 データベース接続文字列を適合させてください。

#### 3.2.2 JSP 用データベース接続

プログラミング/スクリプト言語が JSP の場合、ネイティブデータベースドライバ、ODBC デ ータソース (DSN)、あるいは Java データソースで直接データベースインスタンスに接続するこ とができます。

- 既に"jdbc/wcm"という名前で Java データソースが設定されていて、他のいかなるデータベース接続文字列も Web コンテンツ管理システム内に設定されていない場合は、"jdbc/wcm" Java データソースが自動的に使用されます。
- 別の Java データソース経由でデータベースに接続するには、Web ホスティングプロバイダが Java アプリケーションサーバの Java データソースを設定し、データベースインスタンス に接続するための、Java データソース名、ユーザ名、そしてパスワードを提供する必要があります。
- ODBC データソース (DSN) 経由でデータベースに接続するには、Web ホスティングプロバ イダが Web データベースサーバに、ODBC データソース (DSN) を設定し、データベースイ ンスタンスに接続するための、ODBC データソース名 (DSN)、ユーザ名、パスワードを提供 する必要があります。また、Web ホスティングプロバイダは、sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver データベースドライバをインストールし、設定しておく必要があります。
- データベースに直接接続するには、Webホスティングプロバイダが、データベースインス タンスに接続するためのデータベースインスタンス名、ユーザ名、パスワードを提供する 必要があります。また、Webホスティングプロバイダは使用されるネイティブデータベー スドライバをインストール、設定しておく必要があります。

HeartCore Web コンテンツ管理データベース設定は oracle.jdbc.Driver.OracleDriver のような、 標準のネイティブドライバ用のオプションを含みますが、全ての JDBC 準拠データベース ドライバが利用可能です。使用するデータベースドライバに合わせて、データベースドラ イバクラス名 (例えば "oracle.jdbc.driver.OracleDriver") や HeartCore Web コンテンツ管理 システムの接続文字列のコネクションパラメータ (例え ば "jdbc:oracle:thin:@localhost:1521:database") を変更してください。



ネイティブデータベースドライバで、直接データベースインスタンスにアクセスするよう HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定するには、下記のオプションの中から一つ選んで ください。

- Microsoft SQL Server
- MySQL Database Server
- Oracle Database Server
- IBM DB2 Universal Database Server
- PostgreSQL Database Server

ODBC データソース (DSN) 経由で、直接データベースインスタンスにアクセスするよう HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定するには、下記のオプションの中から一つ選んで ください。

- Microsoft SQL Server ODBC Data Source Name (DSN)
- MySQL Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- Oracle Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- IBM DB2 Universal Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- PostgreSQL Database Server ODBC Data Source Name (DSN)

Java データソースで、データベースインスタンスにアクセスするよう HeartCore Web コンテンツ 管理システムを設定するには、下記のオプションの中から一つ選んでください。

- Microsoft SQL Server Java Data Source
- MySQL Database Server Java Data Source
- Oracle Database Server Java Data Source
- IBM DB2 Universal Database Server Java Data Source
- PostgreSQL Database Server Java Data Source

データベースオプションを選択したら、「3.2.4 データベース接続文字列」に記載されているように、データベース接続文字列を整合させてください。



Installation Guide

Microsoft SQL Server
Microsoft SQL Server
manaqu.com.mind.usuni.squerver.juuc.SuLServer.inver.username.passwordiggiaec.squerver.///ocamous この設定は、データベースへ接続する際にMicrosoft SQL Server JDBCドライバを使用します。
○ Microsoft SQL Server (ODBC(DSN)を使用して接続します)
msqlsun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver.usename.password@jdbc.odbc.database
この設定は、データベースへ接続する際にSUN JDBC ODBCを使用してデータベースにアクセスします。サーバー上で構成されている必要がありま す。
○ Microsoft SQL Server (Javaデータソースを使用して接続します) mssql;dbc/database
この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアプリケーションサーバー上で設定されている必要がありま す
○ Microsoft SQL Server (Javaデータソースを使用して接続します)
msqcusemame.passworo@joocoataoase この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアプリケーションサーバー上で設定されている必要があり?
वे
MySQL Database Server
MySQL Database Server
nysql:com.mysql/dbc.Driverusemame:password@jdbc:mysql:/localhost/database この設定は、MySQLへ接続する際にMySQL JDBCドライバを使用して接続されます。
○ MuSOL Database Sequer (ODBC (DSN)たは田ノブ佐徳(ます)
mygGzun Jabc Odbc JabcOdbcDriver-username:password@jdbc:odbc:database
この設定は、データベースへ接続する際にSUN JDBC ODBCを使用してデータベースにアクセスします。サーバー上で構成されている必要がありま す。
○ MySQL Database Server (Javaデータソースを使用して接続します)
ng reported analysis この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアプリケーションサーバー上で設定されている必要があり す。
○ MySQL Database Server (Javaデータソースを使用して接続します)
mysql:username:password@jdbc/database
Oracle Database Server
oracle:oracle.jdbc.driver.OracleDriver.username:password@jdbc:oracle.thin:@//localhost:1521/database
この設定は、Oracleへ接続する際にOracle JDBCドライバを使用して接続されます。
○ Oracle Database Server (ODBC(DSN)を使用して接続します)
araclesun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDherusemame.password@jdbcodbc:database
この設定は、テーダヘースへ接続する除にSUN JDBC ODBCを使用してテーダヘースにアクセスします。サーハー上で構成されている必要かめります。 す。
◯ Oracle Database Server (Javaデータソースを使用して接続します)
National Judicialianases この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアプリケーションサーバー上で設定されている必要があり す
○ Oracle Database Server (Javaデータソースを使用して接続します)
race unmarning password agond unavase この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアブリケーションサーバー上で設定されている必要があり す
BM DB2 Universal Database Server
b2:COM.ibm.db2.jdbc.app.D82Driver.usemame:password@jdbc:db2://localhosl/database
BM DB2 Universal Database Server
IBM DB2 Universal Database Server
Autocommunitative por Souzannen vasifitiarine passavor oligipart utaz innotannosi. soutourdalabase BM DB2 Universal Database Server
○ IBM DB2 Universal Database Server(ODBCを使用して接続します)
db2:sun,jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver.usemame.password@jdbc.odbc.database
この設定は、データベースへ接続する際にSUN JDBC ODBCを使用してデータベースにアクセスします。サーバー上で構成されている必要がありま す。
◯ IBM DB2 Universal Database Server(Javaデータソース)
<sup>JALC</sup> PURCUBARUSE この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。アプリケーションサーバー上で設定されている必要があります。
◯ IBM DB2 Universal Database Server(Javaデータソース)
db2.username:password@jdbc/database
この設定は、テータベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。アプリケーションサーバー上で設定されている必要があります。



PostgreSQL Database Server
O PostgreSQL Database Server
pgsql:org.postgresql.Driver.usemame:password@jdbc:postgresql://localhost/database
この設定は、PostgreSQL JDBCドライバを使用して接続されます。
○ PostgreSQL Database Server(ODBCを使用して接続します)
pgsql:sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver:username:password@jdbc:odbc:database
この設定は、データベースへ接続する際にSUN JDBC ODBCを使用してデータベースにアクセスします。サーバー上で構成されている必要がありま す。
│ PostgreSQL Database Server(Javaデータソース) pgsqljdbcidatabase
この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアプリケーションサーバー上で設定されている必要があります。
○ PostgreSQL Database Server(Javaデータソース) pgsqlusername:password@idbcidatabase
この設定は、データベースへ接続する際にJavaデータソースとしてアクセスします。Javaアプリケーションサーバー上で設定されている必要があります。

#### 3.2.3 PHP 用データベース接続

プログラミング/スクリプト言語が PHP の場合、ネイティブデータベースドライバや ODBC デ ータベース (DSN) 経由で直接データベースインスタンスに接続できます。

- ODBC データソース (DSN) 経由でデータベースに接続するには、Web ホスティングプロバ イダは Web データベースサーバ上の ODBC データソース名 (DSN) を設定し、データベース インスタンスに接続するための、ODBC データソース名 (DSN)をはじめ、ユーザ名、パスワ ードを提供する必要があります。
- 直接データベースに接続するためには、Webホスティングプロバイダはデータベースイン スタンスに接続するデータベースインスタンス名、ユーザ名、そしてパスワードを提供す る必要があります。

ネイティブデータベースドライバを使用して直接データベースにアクセスするよう HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定するには、下記のオプションの中から一つ選んでください。

- Microsoft SQL Server
- MySQL Database Server
- Oracle Database Server
- IBM DB2 Database Server
- PostgreSQL Database Server

**ODBC** データソース(**DSN**)経由でデータベースにアクセスするよう HeartCore Web コンテンツ管理システムを設定するには、下記のオプションの中から一つ選んでください。

- Microsoft SQL Server ODBC Data Source Name (DSN)
- MySQL Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- Oracle Database Server ODBC Data Source Name (DSN)



- IBM DB2 Universal Database Server ODBC Data Source Name (DSN)
- PostgreSQL Database Server ODBC Data Source Name (DSN)

データベースを選んだら、「3.2.4 データベース接続文字列」に記載されているように、データ ベース接続文字列を調整してください。

#### 3.2.4 データベース接続文字列

データベース接続オプションを選択すると、データベース欄にデフォルトのデータベース接続 文字列が表示されます。デフォルトのデータベース接続文字列内 の"database"、"username"、"password"をWebホスティングプロバイダから提供されたデータベ ースインスタンスの ODBC データソース名 (DSN) /データベースインスタンス名、ユーザ名、 パスワードに置き換えてください。

データベースサーバは、Web ホスティングプロバイダによっては、Web サーバと同一のコンピ ュータで稼動している場合もあれば、データベースサーバと Web サーバがそれぞれ別のコンピ ュータで稼動している場合もあります。

- データベースサーバがWebサーバと同じコンピュータ上で稼動している場合は、データベース接続文字列にある"localhost"をそのまま使用します。
- データベースサーバがWebサーバと違うコンピュータ上で稼動している場合、データベース接続文字列にある"localhost"を、Webホスティングプロバイダから提供されたインターネットドメイン名やデータベースサーバのIPナンバーで置き換えます。

データベースのオプションを選択し、データベース接続文字列を整合したら、保存をクリック してください。

もしエラーになってしまう場合には、Webサーバがデータベース設定を認識するのに数秒かかる可能性があるので、1分間待って、それから保存を再度クリックしてください。もしエラーが 続く場合には、データベース接続文字列を確認し、再度保存をクリックしてください。

データベースインスタンスへの接続が正しく行われるならば(すなわち、保存をクリックして も、エラーにならない場合)、データベースを初期化する準備が整いました。

#### **3.3** ライセンス

HeartCore Web コンテンツ管理システムを使用するには、ハートコア株式会社 (www.heartcore.co.jp) からライセンスを取得し、ライセンスキーを設定する必要があります。 Web ホスティングプロバイダが HeartCore Web コンテンツ管理システムを提供している場合 は、そちらよりライセンスが提供されます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムとライセンスは、それぞれ特徴の異なる様々なエディションにて利用可能です。

- パーソナルエディション:
   小規模ビジネスや個人的 Web サイトを作成し管理するための、個人 Web サイト管理者用シングルユーザシステム
- プロフェッショナルエディション: 大規模 Web サイトや複数の Web サイト管理者向け、あらゆるビジネスニーズをサポートす



る全標準システム

- エンタープライズエディション:
   他の技術的ビジネスシステムとのバックエンド統合をサポートする拡張システム
- ホスティングエディション: 複数クライアントのホスティングや管理をサポートするインターネット、ホスティング、 アプリケーションサービスプロバイダシステム

その他、多数の HeartCore Web コンテンツ管理追加モジュールとライセンスが利用可能です。

- Eコマースモジュール:
   商品カタログ、ショッピングカート、チェックアウト、支払い手続き、注文確認、注文通知、注文追跡
- コミュニティーモジュール:
   ユーザ登録、パーソナライズ機能、掲示板、チャット広場、問題追跡、投票、メーリング リスト、コミュニケーションツール
- データベースモジュール:
   データベース作成、インポート/エクスポート、同期化、データベース管理、閲覧検索
- 統計モジュール
   Web サイトの使用状況モニタリングを目的としたアクセス統計値

HeartCore Web コンテンツ管理システムと追加モジュールのライセンスを設定するには、ハート コア株式会社から提供されたすべてのライセンスコードを適切な箇所にコピー/入力し、保存 をクリックしてください。

保存をクリックする際にエラーが発生した場合、ライセンスコードを確認し、再度やり直して ください。

RRAMM Core CMS		19	GE.		次のユーザでロク	ダインされています: admin 🐣	በቻምウト
			_	-			
A ペース ノス 見者 オイト ユサイト	設定クイックスタート 5つの簡単なステップで、 設定がされている場合がる	新しいWebサイトが立ち_ 5ります。	上がり、すぐにコンテ	シツの閲覧、編集ができる	ます。いくつかのステッ	ップはすでに	
~~	< ステップ0:サーバー	ステップ 1: データベース	ステップ 2: ライセンス	ステップ3:スーパーユーザ	ステップ4: コンテンツ	ステッ	
ge Import 8月 効定 ループ管理 ーザ管理 ジン環境設定 テンプレート ion	ライセンスコードはすでに1 HearCore Webコンテンツ1 97 ライセンス パーソナル エディション プロフェッショナル エディション プロフェッショナル エディション プロフェッショナル エディション アドオンモジュール Eコマース コミュニティ コミュニティ	R定されています。 管理システムのライセンスコー 「イション ション 」ン	ドを入力してください。	ライセンスコードを設定する	ために『保存』を選択して	てください。	



#### 3.4 スーパーユーザ(全体管理者)

HeartCore Web コンテンツ管理スーパーユーザは、特別な権限とシステム設定へのアクセス許可 を持つメインの Web サイト管理者です。

スーパーユーザ Web サイト管理者のためのユーザ名とパスワード、そしてEメールアドレスを 設定する必要があります。デフォルトではスーパーユーザのユーザ名とパスワードは"admin"と "admin"に設定されています。パスワードを他のものに変更しないと誰もが簡単に Web サイト管 理のためのアクセスを権不正に得ることができます。

スーパーユーザのユーザ名やパスワードを覚えておくことは重要です。そうしておかないと、 HeartCore Web コンテンツ管理システムにアクセスすることができず Web サイトを管理できま せん。

保護手段として、スーパーユーザ Web サイト管理者用に有効な Eメールアドレスを設定し、変 更する場合は忘れずに更新してください。もしスーパーユーザのユーザ名とパスワードを忘れ てしまった場合、設定したスーパーユーザEメールアドレスにユーザ名とパスワードを送信さ せることが、唯一の簡単な取得手段です。それ以外には、直接データベースにアクセスし、手 動でスーパーユーザのユーザ名とパスワードをリセットもしくは取得しなければいけません。

Web サイトのコンタクトフォームなどのデフォルトの送付先となる追加の E メールアドレスも 設定してください。

E-コマース追加モジュールをご利用の場合は、Webサイトの注文などのデフォルトの送付先となる追加のEメールアドレスも設定してください。

HeartCore Web コンテンツ管理システム スーパーユーザと E メールアドレスを設定するには、 任意のユーザ名とパスワード、E メールアドレスを入力し、保存をクリックします。

ACONC CMS	四月 3 開来	BOR	次のユーザでログインされています:admin 🛃 🛛   ログアウト   ヘルプ
は なった、 かった、 かった、 かった、 ロッイト、 ース ッツ な な な な かった、 ロッイト・ ース マッツ な な な たップ1: データへース、ステップ2: ライセンス、ステップ3: スーバーユーザ ステップ3: スーバーユーザ スーバーユーザ スーパーユーザ スーパーユーザ スーパーユーザ スーパーユーザ スーパーユーザ ユーザ名 エーガ名 レ アンコーサ名 レバンフード Eメール Eメール アイクスタート、マングンコンタート、 な たびスワード、 Eメール アインスタート、 たび、 ロッグションクトー レ レ レ レ レ レ レ レ レ レ レ レ レ	eartCore CMS		
-ス y K age lmont 級演 Wage Wage lmont 級演 Wage mont Wage m	ム ステム ータベース イセンス 体管理者 ェプサイト ィクロサイト	<b>設定クイックスタート</b> 5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集か 設定がされている場合があります。	<sup>が</sup> できます。いくつかのステップはすでに
	■ マイワレフィト ■ Eコマース ● モヨマース ● モヨマース ■ ビース 「ファイル」 「ファイル」 Eコマース Data-0-Page Import Facebook及稿 ドバルしに相近ご メルマオコーザ管理 メルマオコーザ管理 メールマオジン場供近ごト Zp Uploed QuickSolution QSL/cense		ユーザ ステップ4: コンテンツ ステッ <b>&gt;</b>
		スーパーユーザ詳細はすでに設定されています。 スーパーユーザーのユーザー名とパスワード、およびメールアドレスを入力してください。設定を行うた 年間 スーパーユーザ ユーザ名 パスワード Eメール Eメール Eメール	:めに『保存』を押してください。 

#### 3.5 Web サイトコンテンツ

HeartCore Web コンテンツ管理システムを素早く始めるために、既存の HTML ファイルベースの Web サイトか、もしくは HeartCore Web コンテンツ管理システム内に含まれている様々に異な



るサンプルや、クイックス z タート Web サイトの中からいずれかをインポートする事が出来ます。

後で、これら既存の HTML ファイルベースの Web サイトかもしくはサンプル、クイックスタート Web サイトを、データベース設定 Web コンテンツ管理ページを通して再インポートすることも出来ます。(詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。)

#### 3.5.1 既存 Web サイトのインポート

既存の HTML ファイルベースの Web サイトをお持ちである場合、「既存の Web サイトをイン ポートする」オプションを選択する事ができます。そして、「ページタイトル編集可能領域」 また、「ページコンテンツ編集可能領域」を選択できます。もしこの既存 Web サイトが Dreamweaver テンプレートで作成されたものの場合、様々な「編集可能領域」が HTML ファイ ルから抽出されてリスト表示される可能性があり、お使いの Web ページのタイトルを含む編集 可能領域(もしあれば)、そして Web ページのプライマリコンテンツを含む編集可能領域(も しあれば)を、選択しなければなりません。そうでなければ、単にデフォルトの「なし」、 「すべて」を選択します。最後に、「初期化と Web サイトをインポートする」を選択し、既存 の Web サイト HTML ファイルをインポートします。

Web コンテンツ管理システムは、Web サイト上の「.dwt」ファイル、「.html / htm」ファイル、イメージ、そしてその他のファイルを分析してインポートします。

インポートの際に、下部に出るドロップダウンから、Dreamweaver ベースで作成したテンプレートファイルの編集可能領域を選択できます。選択された領域以外の各ファイル(.html/htm)は、「ページ」として、Web コンテンツ管理システムにインポートされます。

もし、Web サイト home/root フォルダに、「index.html」ファイルがある場合は、このページが 「デフォルトページ (ホームページ)」になります。Web サイトに「.dwt」ファイルがある場 合、このファイルは「テンプレート」として Web コンテンツ管理システムにインポートされ、 それらのテンプレートは「.html / htm」Web サイトファイルから作成された「ページ」に使 われます。「.dwt」ファイル内に追加領域があれば、それらは「classes」、「elements」として Web コンテンツ管理システムにインポートされます。

#### 3.5.2 サンプルクイックスタート Web サイトのインポート

使用可能なサンプルやクイックスタート Web サイトが表示されます。ここに含まれるいくつかのサンプルやクイックスタート Web サイトは、設定されているライセンスキーによっては使用できずグレーアウトされている場合があります。

• Basic

作成済み、定義済みの特別なページを含む、空白の Web サイトです。これは、一から Web サイトを構築する場合に推奨されるオプションです。

- Empty 必要な特別ページも含め全てを一から作成するための完全に空白のWebサイト。(通常 は、この"Empty"ではなく"Basic"Webサイトの使用を推奨)
- Business Website (推奨)

多くの様々な Web コンテンツ管理システム機能を使った高度なサンプル Web サイトです。 企業の Web サイトで一般的に使用されるコンテンツや機能を備えており、容易に変更を加 えることが可能で、すぐに使用開始できます。不要なコンテンツや機能の削除、またデザ インの修正も簡単です。コンテンツや機能を追加することも可能です。



 Eagle Golf 多くの様々な Web コンテンツ管理システム機能を使った高度なサンプル Web サイトです。 それぞれの HeartCore Web コンテンツ管理システムのエディション用に、多様な Eagle Golf サンプル Web サイトが用意されています。

Web サイトコンテンツを初期化するには、リストされたサンプルとクイックスタート Web サイトをひとつ選び「Web サイトを選択する」ボタンを押してください。Web サイトコンテンツの 初期化を再度確認するため「初期化と Web サイトのインポート」ボタンを選択してください。 (または、「ステップ4:Web サイトコンテンツ」タブを選択すると、使用可能なサンプルと クイックスタート Web サイトのオプションが再度表示されます。)

この作業により、選択された Web サイトコンテンツデータが、Web コンテンツ管理システムの データベースにインポートされます。完了するまで数分かかることがあります。データベース インポートの進捗情報は、Web ブラウザに表示されます。

もしデータベースの初期化が正常に完了しなかった場合、再度データベースを初期化する必要 があります。前述されたように、データベース初期化のステップを再度行ってください。詳細 は「データベース」セクションをご参照ください。インポートされる Web サイトが比較的大き い場合、あるいは/また、データベース側のデータインポートが遅い場合、データベースイン ポートが完了する前に Web サーバが「タイムアウト」することがありますその場合は Web サイ トコンテンツのインポートに使用されるリソースを増やす必要があるでしょう。詳細は、「設 定ガイド – データベース設定 – 高度なインポート」をご参照ください。

トップ 開発 繊集	設定		次のユーザでログインされています: admin $ightarrow$	ログアウト   ヘルプ   三
HeartCore CMS				_
<ul> <li>○ ジンテム</li> <li>ト.) システム</li> <li>ト.) ジステム</li> <li>ト.) データベス</li> <li>ト.) ライセンス</li> <li>ト.) ウェブサイト</li> <li>ト.) マイクロサイト</li> <li>ト.) Eコマース</li> </ul>	<b>設定クイックスタート</b> 5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、 設定がされている場合があります。	すぐにコンテンツの問覧、編集ができます	。いくつかのステップはすでに	
+	ステップ0:サーバー ステップ1:データベース ステップ	2: ライセンス ステップ 3: スーパーユーザ ス	<b>ステップ 4: コンテンツ</b> ステッ	
	コンテンツ 下記からあなたが利用するウェブサイトコンテンツを選択し、初期 テンツを選択すると、再度同じメニューが利用できます。) ウェブサイトコンテンツ 原存のWebサイトをインボートします ウェブサイトの選択 取存のHTMLペースのWebサイトのパー:	化とウェブサイトのインボートを選択してくださ	い (ステップ4のウェブサイトコン ブレートをインボートします	
	hada			
	ウェブサイトの選択	ウェブサイトの選択		
	A blank website with pre-created and pre configured Special Pages.	A completely	blank website.	
	Business Japanese Website	Business Website		
	ウェブサイトの選択 「************************************	ゥェブサイトの選択 eのほと Starter examp	le business website, which	

#### **3.6** Web サイトデザイン

最後に、Web サイトをすぐに構築するために、HeartCore コンテンツ管理システムには、様々な クイックスタート Web サイトデザインが含まれています。使用可能なクイックスタート Web サ イトデザインが一覧表示されます。

選択/インポートされた Web サイトコンテントサンプルやクイックスタート Web サイトにより、Web サイトデザインも既にインポート済みの場合があります。この場合は、Web サイトデ ザインクイックスタート設定ステップはスキップされます。



Web サイトデザインをインポートするには、リストされた Web サイトデザインの中からひとつ 選び「Web サイトデザインを選択する」ボタンを押してください。Web サイトデザインのイン ポートを確認するには「Web サイトデザインのインポート」ボタンを選択してください。(ま たは、「ステップ5:Web サイトデザイン」タブを選択すると、使用可能なサンプルとクイッ クスタート Web サイトデザインのオプションが再度一覧表示されます。)

この作業により、選択された Web サイトデザインデータが、Web コンテンツ管理システムのデ ータベースにインポートされます。数秒から数分で完了するはずです。データベースインポー トの進捗情報は、Web ブラウザに表示されます。

トップ	開発 & 編集			設定			次のユーザでログインされ	ています: admin 🐣	ログアウト   ヘルプ   ☰
Heart	Core CMS								
<ul> <li>設定</li> <li>システム</li> <li>システム</li> <li>データ・</li> <li>デイセ:</li> <li>マイク!</li> <li>マイク!</li> </ul>	ム ペース ンス 型者 サイト コサイト	<b>設定クイッ</b> 5つの簡単な 設定がされて	ッ <b>クスタート</b> ミステップで、新しいWet こいる場合があります。	ウサイトが立ち上がり、	すぐにコンテンツの閲覧、	、編集ができます。いく	くつかのステップはす	toc	
<ul> <li></li></ul>		< ->//-	ステップ 1: データベース	ステップ 2: ライセンス	ステップ 3: スーパーユーザ	ステップ 4: コンテンツ	ステップ 5: デザイン	>	
	ge Import 設定 パループ管理 一プ管理 して、 デ修理	ウェブサ ご利用になる のウェブサイ ウェブサイ	<b>イトデザイン</b> §ウェブサイトのデザインを (トデザインを選択すると、 <b>イトデザイン</b>	下記から選択してください 再度同じメニューが利用て	ヽ。選択後ウェブサイトデザイ できます。)	ンをインポートするを選拔	Rしてください。 (ステ・	ップ5	
- 0 メールマカ - 0 アンケート	ラン環境設定 テンプレート	African lar	idscape (pinks and greys) イトのデザインを選択します		Apple and pear (ye	ellows and greens) ザインを選択します			
QuickSolution     QuickSolution     QuickSolution     QSLicense									
		Autumn fo	rest (blues and oranges) イトのデザインを選択します		Beach and childre	n (sand and blues) ザインを選択します			
					11				

#### **3.7** Web サイト設定

最後に、さまざまな Web サイト設定を調節できます。

基本的な Web サイトの設定は、2つの特別な HTML ヘッダーであり、これはどのバージョンの HTML コード、そしてどのキャラクタセットエンコーディングを Web サイトに使っているのか を、Web ブラウザに伝えます。これに対し、もし特にお好みの設定などがなければ、「HTML DOCTYPE」を空白のままにするか、「HTML 4.01 Transitional」オプションを選択、そして 「HTML コンテンツタイプ文字コード」をデフォルトの「UTF-8」にセットしてください。

更に様々な Web サイト設定は、インポートした Web サイトコンテンツと Web サイトデザイン に応じて表示されます。ここでは、初期設定のままにしておき、後で変更しても構いません。



••••••

トップ 開寛 & 編集	設定	次のユーザでログインされています:admin 😪 🛛   ログアウト   ヘルプ   〓				
HeartCore CMS						
2.000						
B改     D	<ul> <li>設定クイックスタート</li> <li>5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集がで 設定がされている場合があります。</li> <li>く データベース ステップ2:ライセンス ステップ3:スーパーユーザ ステップ4:コンテンツ ステ ウェブサイト設定</li> </ul>	vさます。いくつかのステップはすでに ップ 5: デザイン ステップ 6: 設定 ♪				
	<ul> <li>下記の項目から、デフォルトのWebサイト設定を選択し、保存を押してください。</li> <li>タマ</li> <li>ウェブサイト設定</li> <li>HTML DOCTYPE</li> </ul>					
	O HTML 4.01 Transitional O HTML 4.01 Strict O XHTML 1.0 Transitional O XHTML 1.0 Strict O XHTML 1.1 O HTML 5					
	HTML コンテンツ-タイプ文字コード					
	01L.0					



4

Installation Guide

# インストール及び設定完了後

これまでのセクションに従って、データベース、ライセンス、スーパーユーザ、Web サイトコ ンテント、Web サイトデザインを設定し終えると、HeartCore Web コンテンツ管理システムを使 い始める準備が整います。

HeartCore Web コンテンツ管理システムをカスタマイズしたり、それぞれの要求を満たす追加機 能を有効化するための設定オプションが他にもたくさんあります。たとえ広範囲にシステムを 使用した後でも、HeartCore Web コンテンツ管理システムを再設定して、いつでも特定の機能を 有効化、無効化することができます。ですので、実際に機能が必要になるまで、全ての機能を 有効にしておく必要はありません。詳細については、別冊「設定ガイド」をご覧ください。

最初は、基本操作に慣れるまで基本的な Web コンテンツ管理機能を使用することをお勧めしま す。詳細は、別冊「ウェブサイト作成者ガイド」「ウェブサイト管理者ガイド」をご確認下さ い。

HeartCore Web コンテンツ管理データベースを設定し、初期化すると、スーパーユーザ Web サイト管理者として自動的にログインされます。HeartCore Web コンテンツ管理 Web ページの右手上にある"Logout"をクリックすると、ログアウトできます。

ログアウトすると、新しいサンプル Web サイトのホームページが表示されます。





# **4.1** ログイン

Web サイトを管理する HeartCore Web コンテンツ管理システムにアクセスするには、通常の Web アドレスに"/webadmin/"を追加した URL を開きます。例えば、<u>http://127.0.0.1</u>というアドレ スで Web サイトにアクセスするならば、HeartCore Web コンテンツ管理システムにアクセスす るには、<u>http://127.0.0.1/webadmin/</u>といったアドレスを使用します。

HeartCore Web コンテンツ管理システムへアクセスするには、まず、スーパーユーザもしくは他のWebサイト管理者へ設定したユーザ名とパスワードで認証を得てログインします。大文字、小文字、スペース、句読点に注意し、正確にユーザ名とパスワードを入力してください。



#### 4.2 ログアウト

ログインが無事に完了したら、Web サイトの HeartCore Web コンテンツ管理システムへアクセ スできます。同時に、あなたのコンピュータにアクセスできる誰もが、Web コンテンツ管理シ ステムへアクセスできることになります。時間の長短に関わらずコンピュータから離れるとき は、HeartCore Web コンテンツ管理システムをログアウトし、他の人が Web サイトを変更しな いようにしてください。他の人も使用可能なコンピュータを使用しているのならば、このこと は特に重要です。

HeartCore Web コンテンツ管理システムをログアウトするには、HeartCore Web コンテンツ管理 や、閲覧&編集ページの左手上にある、"ログアウト"リンクをクリックしてください。ログア ウト後は、Web サイトのホームページが表示されます。

Web サーバの設定により、自動的にログアウトされることがあります。厳密には、ログイン/ロ グアウトはWeb サーバの"セッション変数"と呼ばれるものによって制御されています。Web サ ーバは、数秒から数日でセッション変数が期限切れになるよう設定されている可能性がありま す。

HeartCore Web コンテンツ管理システムを使用している間に、Web サーバのセッション変数によってログインの期限が切れるようであれば、再度ログインしてください。例えば、Web ページのひとつのコンテンツを編集するのに長時間かかり、保存する前にログインが切れてしまったら保存されないので、定期的に作業を保存してください。もしくは、Web ホスティングプロバイダに、Web サーバのセッション変数有効期限を延ばしてもらうように依頼することもできま



ログイン | ヘルプ | 三

す。通常、Webサーバ設定は問題ないはずですが、場合によっては数分でセッション変数が切れるように設定されている可能性があります。

#### 4.3 スーパーユーザのユーザ名とパスワード取得

スーパーユーザのユーザ名とパスワードを忘れたり、失くしたりしないように気をつけてくだ さい。これらは HeartCore Web コンテンツ管理システムへのフルアクセス権を得るためには欠か せません。

しかしながら、もし、スーパーユーザのユーザ名とパスワードを忘れてしまった場合、有効な スーパーユーザEメールアドレスを設定していれば取得が可能です。

スーパーユーザのユーザ名とパスワードを取得するには、通常のWebサイトアドレスに、 "/webadmin/password/"を追加したアドレスを開きます。例えば、通常 http://127.0.0.1 というアド レスでWebサイトにアクセスしている場合、"http://127.0.0.1/webadmin/password/"というアドレ スを使用し、設定されたスーパーユーザEメールアドレスに、ユーザ名とパスワードを送信さ せます。

HeartCore CXM Digital Marketing Suite

トップ 閲覧&編集

HeartCore Webコンテンツ管理システム スーパーユーザの詳細をメールしました: example@heartcore.co.jp

スーパーユーザのユーザ名とパスワードを忘れたり失くした場合に、もしスーパーユーザEメ ールアドレスが設定されていなかったり有効でないとなると、他に簡単にユーザ名とパスワー ドを取得する方法はありません。

その他の方法としては、HeartCore Web コンテンツ管理データベースに手動でアクセスし、下記 SQLデータベースコマンドステートメントを使って、スーパーユーザユーザ名とパスワードを デフォルトの"admin"へリセットします。

DELETE \* FROM config WHERE configname='superadmin'; DELETE \* FROM config WHERE configname='superadmin\_password';

警告:これは専門的な知識を必要とし、エラーを起こすと Web サイトコンテンツ等の一部、あるいは全てを失ってしまう可能性があります。スーパーユーザのユーザ名とパスワードを失くさないように注意してください。

#### 4.4 ホーム

HeartCore Web コンテンツ管理システムへのログインが成功すると、メインの管理ページが表示 されます。



.

Installation Guide





# 5 ソフトウェア更新

HeartCore Web コンテンツ管理システムは今後も改善され、拡張していきます。最新版はハート コア株式会社のサイトよりダウンロードが可能です。

バージョン 6.3 以降のすべての Web コンテンツ管理システムの管理ページの下のフッターには、HeartCore Web コンテンツ管理システムの現在のバージョンが表示されています。(それ以前のバージョンでは、Web コンテンツ管理システムの管理ページには現在のバージョン番号は表示されません。しかし、Web コンテンツエディタのヘルプポップアップウィンドウの下に表示される Web コンテンツエディタのバージョン番号により、判断可能です。)

このセクションでは、HeartCore Web コンテンツ管理システムをアップグレードする一般的な手 順ご説明いたします。しかし、リリースによっては、アップグレード手順が異なる場合があり ます。ハートコア株式会社のサイトにある、特別なアップグレード方法を読んで確認してくだ さい。

HeartCore Web コンテンツ管理システムをアップグレードすることにより、いかなる Web サイトコンテンツや、その他のデータも変更、または削除されることはありません。しかし、念のため HeartCore Web コンテンツ管理システムをアップグレードする前に、常に既存プログラムファイル、データファイル、データベースのバックアップをとってください。もしアップグレードの最中に問題が生じても復旧させることが可能になります。

#### 5.1 ダウンロードとインストール

HeartCore Web コンテンツ管理システムの新リリースをダウンロードしてインストールするには、初期インストールと同じように、適切なフォーマットにてパッケージをダウンロードして解凍し、Web サイトフォルダにコピーします。既存のプログラムファイルは、いくつかを除いては、新リリース内のプログラムファイルと置き換えます。アップグレードの際、(Web サイトのルートフォルダに配置されている)以下の既存ファイルについては、置き換えないで保持してください。

ini.aspx / ini.jsp / ini.php ini.webadmin.aspx / ini.webadmin.jsp / ini.webadmin.php defaults.aspx / defaults.jsp / defaults.php

これらのファイルには Web サイトの設定が含まれています。誤ってこれらのファイルを書き換 えてしまった場合は、Web サイトが正常に機能しない可能性があります。しかし、Web サイト の設定が失われたわけではなく、以下の Web アドレスを Web ブラウザで開く事によって回復し ます。

http://127.0.0.1/webadmin/database/upgrade.aspx

HeartCore Web コンテンツ管理システムの.NET 版をご利用されている場合

http://127.0.0.1/webadmin/database/upgrade.jsp

HeartCore Web コンテンツ管理システムの JSP 版をご利用されている場合 http://127.0.0.1/webadmin/database/upgrade.php

HeartCore Web コンテンツ管理システムの PHP 版をご利用されている場合

ご自分の Web サイトアドレスに"127.0.0.1"を書換え、Web サイトのスーパーユーザ管理者用の ユーザ名とパスワードでログインする必要があることにご注意ください。



# 5.2 データベースアップグレード

HeartCore Web コンテンツ管理システムの最新版をインストールしたら即座に、常にスーパーユ ーザ Web サイト管理者でログインしてください。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの最新版では、データベースモデルのアップグレードが 要求されることがあります。最新版 HeartCore Web コンテンツ管理システムのインストール後、 スーパーユーザ Web サイト管理者としてログインする際に、"データベースアップグレードの要 求"のメッセージが表示される場合があります。その時には、ただ表示されたリンクを選択する ことで、自動的にデータベースがアップグレードされます。



# **6** 国際化

The HeartCore Web コンテンツ管理システムは、国際化をサポートしており、全テキストをデフ オルト言語(英語)以外の言語への翻訳と、各 Web サイト管理者の言語設定の自動検出が可能 です。.

# 6.1 HeartCore Web コンテンツ管理システムのテキスト

HeartCore Web コンテンツ管理システム内のテキストはすべて"/WEB-INF/classes/ hardcore.properties"ファイルの中にあります。このファイルには、特定の言語が選択されていない、あるいは使用不可の場合に使用されるデフォルトテキストが含まれています。

全テキストを他の言語に翻訳して追加言語ファイルを作成することができます。デンマーク語の翻訳ファイルがデフォルトで含まれており、"/WEB-INF/classes/hardcore\_da.properties"ファイルに、HeartCore Web コンテンツ管理システム内のテキストがすべてデンマーク語に訳されて入っています。

追加で他の言語をサポートする場合は、単純に"/WEB-INF/classes/hardcore.properties"ファイルを コピーしてコンテンツを翻訳します。コピーしたファイル名は必ず"/WEB-INF/classes/hardcore\_xx.properties"とし、"xx"には以下のような ISO 639 の言語コードを入れま す。

- ar アラビア語
- de ドイツ語
- en 英語
- es スペイン語
- fr フランス語
- ja-日本語
- zh 中国語

言語を変更するための追加言語ファイルはそれぞれの国に対応した翻訳をすることで作成する ことができます。言語変更をサポートするには、単純に"/WEB-INF/classes/hardcore.properties"フ ァイルか、他の言語ファイルをコピーし、コンテンツを翻訳します。コピーしたファイル名は 必ず"/WEB-INF/classes/hardcore\_xx\_YY. properties"とし、"xx"には上記の ISO 639 の言語コード を入れ、"YY"は以下のような ISO 3166 の国別コードを入れます。

- AU-オーストラリア
- CA カナダ
- GB イギリス
- US アメリカ合衆国

デフォルトの言語を変更するには、単純にデフォルトの英語の"/WEB-INF/classes/hardcore.properties"ファイルを他言語のファイルのコピーと置き換えます。

# 6.2 HeartCore Web コンテンツエディタのテキスト

HeartCore Web コンテンツエディタ内のテキストはすべて"/webadmin/webeditor/ properties.js"ファイルの中にあります。このファイルには、特定の言語が選択されていない、あるいは使用不可の場合に使用されるデフォルトテキストが含まれています。



全テキストを他の言語に翻訳して追加言語ファイルを作成することができます。デンマーク語の翻訳ファイルがデフォルトで含まれており、"/webadmin/webeditor/properties\_da.js"ファイルには HeartCore Web コンテンツエディタ内のテキストがすべてデンマーク語に訳されたものが含まれています。

追加で他の言語をサポートする場合は、単純に"/webadmin/webeditor/properties.js"ファイルをコ ピーしてコンテンツを翻訳(またその言語を以下に示されるとおり

"/webadmin/webeditor/Webeditor.properties.js"に追加) します。コピーしたファイル名は必ず "/webadmin/webeditor/properties\_xx.js"とし、"xx" には以下のような ISO 639 の言語コードを入れます。

- ar アラビア語
- de ドイツ語
- en 英語
- es スペイン語
- fr フランス語
- ja 日本語
- zh 中国語

言語を変更するための追加言語ファイルはそれぞれの国に対応した翻訳をすることで作成する ことができます。他言語を追加サポートするには、単純に"/webadmin/webeditor/properties.js"フ ァイルか、他の言語ファイルをコピーし、コンテンツを翻訳します。コピーしたファイル名は 必ず"/webadmin/webeditor/properties\_xx\_YY.js"とし、"xx"には上記の ISO 639 の言語コードを入 れ、"YY"は以下のような ISO 3166 の国別コードを入れます。

- AU-オーストラリア
- CA-カナダ
- GB-イギリス
- US アメリカ合衆国

デフォルトの言語を変更するには、単純にデフォルトの英語の"/webadmin/webeditor/ properties.js"ファイルを他言語のファイルのコピーと置き換えます。

新言語ファイルのサポートを追加するには、"/webadmin/webeditor/Webeditor. properties.js"ファイルを変更する必要があります。ファイルの先頭にある以下の行に言語/国別コードを追加します。

#### var webeditor\_languages = "|da|en|";

"/hardcore/Webeditor/properties\_xx.js" という名の新言語ファイルのサポートを追加するにはこの 行を次のように変更します。

var webeditor\_languages = "|da|en|xx|";

"/hardcore/Webeditor/properties\_xx\_YY.js"という名の新言語ファイルのサポートを追加するには この行を次のように変更します。

var webeditor\_languages = "|da|en|xx\_YY|";

言語/国別コードは|の文字で区切られ、囲まれている必要があります。.



# 6.3 Web サイト管理者の言語選択

HeartCore Web コンテンツ管理システムで使用される言語は、それぞれの Web サイト管理者が 使用しているブラウザの言語の優先設定によって選択されます。

Microsoft Internet Explorer の言語選択をする場合、ツールーインターネットオプションー全般ー 言語メニュー/ウィンドウを使って選択することができます。詳細については、Microsoft Internet Explorer のドキュメントを参照してください。.

言語の優先順位	3
言語の優先順位 Webサイトの閲覧で使う言語を追加して、優先順に並べかえてください。ある言語の文字によっては、別の言語のWebサイトに体験するために使われる恐れがあたむ、必要な言語だけ追加するようにしてください。 言語(L):	
日本語 (日本), (a-UP) 英語 (米国) [en-US] 下へ(D) 高助除(M) 追加(A)	
プレフィックスとサフィックスのオプション 一入力した Web アドレスのわかに 'www' を追加しない Ctrl + Shift + Enter を押したときに、入力した Web アドレスに追加される サフィックス (例 net) を指定してください。 サフィックス:	
OK キャンセル	

MozillaFirefox の言語選択をする場合、ツール – オプション – コンテンツ – 言語設定メニュー/ ウィンドウを使って選択することができます。

Web ページの言語	23
ー部の Web ページは複数の言語で提供されてい らのページで使用する言語とその優先順位を設い。 言語の優先順位:	います。これ 定してくださ
日本語 [ja]	上へ( <u>U</u> )
英語 [en]	下へ( <u>D</u> ) 削除( <u>R</u> )
追加する言語を選択・	追加( <u>A</u> )
OK キャンセル	<u> へレプ(H)</u>

HeartCore Web コンテンツ管理システムは選択された Web ブラウザの言語設定を検出し、選択 された言語のうち、使用可能なひとつを使います。選択された言語がどれも使用不可の場合 は、デフォルトの言語が使用されます。



7

Installation Guide

# 追加モジュール、拡張、プログラミング API スクリプト

# 7.1 カスタム / サードパーティ製追加モジュール

HeartCore Web コンテンツ管理システムでは、独自のカスタム追加モジュールを作成したり、サードパーティ製の追加モジュールを使用したりすることができます。

カスタム/サードパーティ製追加モジュールを HeartCore Web コンテンツ管理システム管理ページと統合し、独自の管理セクションやメニュー項目を既存の管理セクションに追加することができます。

カスタム/サードパーティ製追加モジュールは、Eコマース追加モジュールと併せて使用する 決済サービスプロバイダモジュールでも可能です。

#### 7.1.1 インストールと設定

追加モジュールを追加でインストールするには、モジュールファイルを Web サーバに(デフォルトでは、"/webadmin/module/"フォルダ内の新規フォルダとして)コピーします。

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、追加の追加モジュールをロードするよう設定されて いる必要があります。"/webadmin/module/config.xxx"ファイル("xxx"は、使用する HeartCore Web コンテンツ管理システムのバージョンにより、"asp", "jsp" または "php")を編集し、ファイ ルの一番下に1行追加します。例えば、"example"というモジュールを有効にするには、次の行 を追加します。

- .NET: <!-- #include file="example/config.aspx" -->
- JSP:
   <%@ include file=" example /config.jsp" %>
- PHP: <?php include " example /config.php"; ?>

複数の追加モジュールが設定されている場合、ここでの設定順により Web コンテンツ管理シス テムのこれらの管理セクションやメニュー項目の表示順が決まります。

#### 7.2 カスタム/サードパーティ拡張

HeartCore Web コンテンツ管理システムでは、独自のカスタム拡張を作成したり、サードパーティ製の拡張を使用したりすることができます。

カスタム /サードパーティ製の拡張を HeartCore Web コンテンツ管理システムと連携し、Web コンテンツ管理システム以外の他のアプリケーションから、コンテンツを使用することができます。

#### 7.2.1 インストールと設定

追加の拡張をインストールするには、拡張ファイルを Web サーバ(デフォルトでは、 "/webadmin/extension/" フォルダ内の新規フォルダとして)にコピーします。設定は必要ありま せん。



#### 7.3 商品在庫確認・商品配信 カスタム/サードパーティ拡張

HeartCore Web コンテンツ管理システムのEコマース追加モジュールでは、独自の商品在庫確認・配信カスタム拡張を作成したり、サードパーティ製の拡張を使用することができます。

商品在庫確認・配信カスタム/サードパーティ拡張を、HeartCore Web コンテンツ管理システムのEコマース追加モジュールと連携すると、Web コンテンツ管理システム以外のアプリケーションを使って、商品の在庫を確認したり、自動配信を行うことが可能になります。

#### 7.3.1 商品在庫確認 カスタム/サードパーティ拡張

商品在庫確認 カスタム/サードパーティ拡張は、商品が購入可能かどうかを調べるために、商品、ショッピングカート、チェックアウトページにおいて使用することができます。

例えば、自身の外部在庫確認や棚卸システムをチェックし、商品の在庫があるかどうかを調べ ます。もしくは、業者側の外部在庫確認や棚卸システムをチェックし、商品の在庫があるか、 また注文できるかどうかを調べます。また、ユーザ名、メールアドレス、インターネットドメ イン名などのような現物のない商品の確認や、それらがすでに登録済みかどうかを調べます。

#### 7.3.1.1 インストールと設定

追加の商品配信拡張をインストールするには、拡張ファイルを Web サーバへ(デフォルトでは、"/webadmin/productavailability/" フォルダ内の新規ファイルとして) コピーする必要があります。 設定は必要ありません。

#### 7.3.2 商品配信 カスタム/サードパーティ拡張

商品配信カスタム/サードパーティ拡張は、自動的にデジタル商品を生成し、商品が注文され た際に外部システムを更新するために使用されます。例えば、自身の外部在庫状況や棚卸シス テムを更新したり、供給業者へ注文したりします。もしくは、ユーザ名、メールアドレス、イ ンターネットドメイン名などのような現物のない商品を生成/配信します。

#### 7.3.2.1 インストールと設定

追加の商品配信拡張をインストールするには、拡張ファイルを Web サーバへ(デフォルトでは、"/webadmin/productdelivery/"フォルダ内の新規ファイルとして)コピーする必要があります。特に設定などは必要ありません。

#### 7.4 ワークフローアクションカスタム/サードパーティ拡張

HeartCore Web コンテンツ管理システムでは、独自のワークフローアクションカスタム拡張を作成したり、サードパーティ製の拡張を使用することができます。

ワークフローアクションカスタム/サードパーティ拡張を、HeartCore Web コンテンツ管理シス テムと連携すると、Web コンテンツ管理システム以外のアプリケーションを使って、コンテン ツの管理アクションを作成および記録することが可能になります。

#### 7.4.1 インストールと設定

追加のワークフローアクション拡張をインストールするには、拡張ファイルを Web サーバへ (デフォルトでは、"/ webadmin/workflowaction/"フォルダ内の新規ファイルとして) コピーする 必要があります。特に設定などは必要ありません。

#### **7.5 Web** コンテンツエディタカスタム/サードパーティ拡張

HeartCore Web コンテンツ管理システムでは、独自の Web コンテンツエディタカスタム拡張を 作成したり、サードパーティ製の拡張を使用することができます。



Web コンテンツエディタカスタム/サードパーティ拡張を、HeartCore Web コンテンツ管理シス テムと連携すると、Web コンテンツ管理システムに含まれている HeartCore Web コンテツエデ ィタ以外の Web コンテンツエディタを使用することが可能になります。

#### 7.5.1 インストールと設定

追加の Web コンテンツエディタ拡張をインストールするには、拡張ファイルを Web サーバへ (デフォルトでは、"/ webadmin/webeditors/EXTENSION NAME/"フォルダ内の新規ファイルとし て) コピーする必要があります。特に設定などは必要ありません。

#### 7.6 プログラミング API スクリプト

独自のカスタムプログラムスクリプトを使って、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムの機能 を拡張したり、カスタマイズすることができます。

#### 7.6.1 インストールと設定

プログラム API スクリプトをインストールするには、Web サーバヘコピーする必要があります (デフォルトでは、"/webadmin/api/" 配下のフォルダ)。設定は必要ありません。

#### 7.6.2 外部 Web サイト公開/アーカイブ プログラミング API

デフォルトでは、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムは実際のWebサイト上で動作し、動的 にWebサイトコンテンツを配信します。しかし、Webコンテンツ管理システム内で、例えば、 他のWebサーバやアーカイブ/バックアップサーバにファイルをコピーするなど、コンテンツ 項目が公開される際、または非公開される際に独自のプログラムスクリプトを実行させるよう にプログラムしたい場合があります。

"静的ファイル名"を持つ新規もしくは更新済コンテンツ項目が公開されると、Web コンテン ツ管理システムは、"/webadmin/api/published"、"/webadmin/api/published.bat"、

"/webadmin/api/published.sh"ファイルが存在するかをチェックし、公開されたコンテンツ項目の静的ファイル名をパラメータとして実行します。

"静的ファイル名"を持つコンテンツ項目が非公開にされると、Web コンテンツ管理システムは"/webadmin/api/unpublished"、"/webadmin/api/unpublished.bat"、

"/webadmin/api/unpublished.sh"ファイルが存在するかをチェックし、公開されたコンテンツ項目の静的ファイル名をパラメータとして実行します。

#### 7.6.3 ファイルアップロードプログラミング API

デフォルトでは、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムはアップロードされたイメージとその 他のファイルを、コンテンツ項目として Web コンテンツ管理システムに追加します。しかし、 イメージまたはファイルが Web コンテンツ管理システムにアップロードされる際に、ファイル のウィルスチェックをしたり、他のフォーマットやサイズにファイルを変換するための独自の プログラムを実行したい場合があります。

"イメージ"または"ファイル"がアップロードされる際、Web コンテンツ管理システムは、 "/webadmin/api/image"、"/webadmin/api/image.bat"、"/webadmin/api/image.sh"、 "/webadmin/api/file"、"/webadmin/api/file.sh"のファイルが存在す るかをチェックし、アップロードされたファイルのファイル名をパラメータとして実行しま す。プログラムスクリプトは、プログラムスクリプトが何をするか、また Web コンテンツ管理 システムが何をなすかによって、以下を出力/返します。

 パラメータとしてプログラムスクリプトに渡されたファイル名 プログラムスクリプトが、アップロード済ファイルをリネーム、移動、または削除してい ない場合



- アップロードされたファイルの新しいファイル名 プログラムスクリプトがアップロード済ファイルをリネーム、または移動していた場合。
   Web コンテンツ管理システムは、コンテンツ項目を新しいファイル名で更新します。
- 何もなし プログラムスクリプトがアップロード済ファイルを削除していた場合。Web コンテンツ管 理システムもまた、コンテンツ項目を削除します。

"イメージ"または"ファイル"がアップロードされると、Web コンテンツ管理システムは以下のファイルが存在するかチェックします。

"/webadmin/api/image1", "/webadmin/api/image1.bat", "/webadmin/api/image1.sh", "/webadmin/api/image2", "/webadmin/api/image2.bat", "/webadmin/api/image3.sh", "/webadmin/api/file1", "/webadmin/api/file1.bat", "/webadmin/api/file1.sh", "/webadmin/api/file2", "/webadmin/api/file2.bat", "/webadmin/api/file2.sh", "/webadmin/api/file3.bat" or "/webadmin/api/file3.sh"

そして、アップロードされたファイルのファイル名をパラメータとして実行します。プログラ ムスクリプトは、プログラムスクリプトが何をするか、また Web コンテンツ管理システムが何 をなすかによって、以下を出力/返します。

- アップロード済ファイルの新しい、代替コピーのファイル名 例えば、イメージの低い解像度のバージョン、または、Microsoft Word ドキュメントの PDF バージョン、または、プログラムファイルの圧縮バージョンなど。Web コンテンツ管理シ ステムは、新しいファイルに対して追加のコンテンツ項目を作成します。元のアップロー ドされたファイルのコンテンツ項目の対応する追加コンテンツ/イメージ1/イメージ2/イ メージ3/ファイル1/ファイル2/ファイル3の属性は、新しい、代替ファイルのコンテ ンツ項目を指します。新しい、代替ファイルのコンテンツ項目の関連コンテンツ/ページア ップ属性は、元のアップロードされたファイルのコンテンツ項目を指します。
- 何もなし プログラムスクリプトが、アップロード済ファイルの新しい、代替コピーを作成していな い場合。Web コンテンツ管理システムは、追加のコンテンツ項目を作成しません。

#### 7.6.4 コンテンツデータ検証 プログラミング API

Web サイトコンテンツに対し特別な要件がある場合、コンテンツが Web コンテンツ管理システムに保存される時/前に検証されるよう、独自のプログラムスクリプトをプログラムすることが可能です。プログラムスクリプト"/webadmin/api/validatecontent.xxx"("xxx"を該当のプログラミング言語拡張子に置き換える: "aspx", "jsp" "php")が存在する場合、コンテンツが追加または更新されて保存される際に、実行されます。コンテンツのデータは、標準 HTML POST フォームデータとしてプログラムスクリプトへポストされます。

そうすると、ポストされたコンテンツ項目データは検証され、プログラムスクリプトが構造化 レスポンスを Web コンテンツ管理システムへ返します。

- "OK" コンテンツ項目データはOK、コンテンツは保存されます。
- "OK:ALERT:MESSAGE"

コンテンツ項目データは OK、コンテンツは保存されます。"MESSAGE"が Web サイト管理 者へ表示されます("MESSAGE"を独自の文字列に置き換える)。



- "ERROR:CONFIRM:MESSAGE" コンテンツ項目データに問題がある可能性があり、Web サイト管理者はコンテンツを保存 するか、キャンセルするか、再編集するか確認するよう"MESSAGE"で促されます ("MESSAGE"を独自の文字列に置き換える)。
- "ERROR:ALERT:MESSAGE"
   コンテンツ項目データに問題があり、コンテンツは保存されません。"MESSAGE"がWebサイト管理者へ表示され、コンテンツを保存するには編集し直す必要があります ("MESSAGE"を独自の文字列に置き換える)。

#### 7.6.5 ユーザデータ認証 プログラミング API

Web サイトユーザアカウントに対し特別な要件がある場合、ユーザデータが Web コンテンツ管 理システムに保存される時/前に検証されるよう、独自のプログラムスクリプトをプログラム することが可能です。プログラムスクリプト"/webadmin/api/validateuser.xxx"("xxx"を該当のプ ログラミング言語拡張子に置き換える: "aspx", "jsp" "php")が存在する場合、ユーザアカウント が追加または更新されて保存される際、また Web サイト上でのユーザ登録際に実行されます。 ユーザアカウントのデータは、標準 HTML POST フォームデータとしてプログラムスクリプト へポストされます。

そうすると、ポストされたユーザアカウントデータは検証され、プログラムスクリプトが構造 化レスポンスを Web コンテンツ管理システムへ返します。

- "OK" ユーザアカウントデータは OK、ユーザアカウントは保存されます。
- "OK:ALERT:MESSAGE"

ユーザアカウントデータは OK、ユーザアカウントは保存されます。"MESSAGE"が Web サイト管理者へ表示されます("MESSAGE"を独自の文字列に置き換える)。Web サイトユーザ登録では、"MESSAGE"が Web サイトユーザへ表示されます。

• "ERROR:CONFIRM:MESSAGE"

ユーザアカウントデータに問題がある可能性があり、Web サイト管理者はユーザアカウントを保存するか、キャンセルするか、再編集するか確認するよう"MESSAGE"で促されます ("MESSAGE"を独自の文字列に置き換える)。Web サイトユーザ登録では、"MESSAGE" がWeb サイトユーザへ表示されます。

• "ERROR:ALERT:MESSAGE"

ユーザアカウントデータに問題があり、ユーザアカウントは保存されません。"MESSAGE" がWebサイト管理者へ表示され、ユーザアカウントを保存するには編集し直す必要があり ます("MESSAGE"を独自の文字列に置き換える)。Webサイトユーザ登録では、 "MESSAGE"がWebサイトユーザへ表示されます。

#### 7.6.6 メディアクラウドストレージ API

デフォルトでは、Webサイトのイメージやファイルは、サーバに格納されます。Webサイトおよび HeartCore Web コンテンツ管理システムが、複数サーバのクラスタ上で作動している場合は、すべてのサーバでイメージやファイルを参照できるよう、共有ファイルストレージやミラー/複製ファイルストレージのセットアップが必要です。代わりに、クラウドストレージサービス(もしくは異なるタイプの共有ストレージサービス)を使用することも可能です。

Web コンテンツ管理システムの「設定」>「システム」>「ウェブサイト」>「メディアスト レージ」>「クラウドストレージ」にて、クラウドストレージの使用が設定されると、イメー



ジやファイルのアップロード時、コピー時、移動/リネーム時、削除時、ダウンロード時 に、"/webadmin/api/"プログラムスクリプトが実行されるようになります。

- /webadmin/api/exists.xxx ("xxx"は、"aspx" "jsp" "php"のいずれかと置き換えてください) 指定したイメージやファイルが、クラウドストレージに存在するか否かを判断します。
- /webadmin/api/upload.xxx("xxx"は、"aspx""jsp""php"のいずれかと置き換えてください) 新規にアップロードされたイメージやファイルを、クラウドストレージへアップロードします。
- /webadmin/api/copy.xxx ("xxx"は、"aspx" "jsp" "php"のいずれかと置き換えてください) コピーされたイメージやファイルを、クラウドストレージへコピーします。
- /webadmin/api/move.xxx("xxx"は、"aspx" "jsp" "php"のいずれかと置き換えてください)
   移動/リネームされたイメージやファイルを、クラウドストレージ上で移動/リネームします。
- /webadmin/api/delete.xxx ("xxx"は、"aspx" "jsp" "php"のいずれかと置き換えてください) 削除されたイメージやファイルを、クラウドストレージから削除します。
- /webadmin/api/download.xxx("xxx"は、"aspx" "jsp" "php"のいずれかと置き換えてください) 変更された、もしくは存在しないイメージやファイルがアクセスされると、クラウドスト レージからダウンロードします。

これらの"/webadmin/api/" プログラムスクリプトは、Web コンテンツ管理システムに含まれてお り、様々なクラウドサービスプロバイダに対応しています。また、プログラムコード内には、 プレースホルダコメントも用意されており、独自もしくはサードパーティのクラウドストレー ジサービスプロバイダ向けに、カスタムプログラムを追加することが可能です。詳しくは、お 手元の各 "/webadmin/api/" プログラムスクリプトをご参照ください。

#### 7.6.7 ワンタイムパスワードログインプログラミング API

ワンタイムパスワードを使ったウェブサイトや Web コンテンツ管理システムへのログインに関し、特別な要件がある場合、独自のプログラムスクリプトを作成して、ログイン時にワンタイムパスワードコードを生成/配信することができます。

ウェブサイトユーザやウェブサイト管理者が、ウェブサイトや Web コンテンツ管理システムに ログインする際、Web コンテンツ管理システムは、 "/webadmin/api/login"、 "/webadmin/api/login.bat"、 "/webadmin/api/login.sh"、 "/webadmin/api/login.xxx" ("xxx" は、 "aspx"、 "jsp"、 "php"のいずれか) のいずれかのファイルが存在するかチェックし、ウェブサイ トユーザ/管理者の情報と生成されたワンタイムパスワードコードで実行します。

プログラムスクリプトおよび Web コンテンツ管理システムが何を行うかに応じて、プログラム スクリプトの返却/出力は以下のようになります。

- プログラムスクリプトにパラメータとして渡されたコードと同じワンタイムパスワードコード:
   プログラムスクリプトがそのワンタイムパスワードコードをウェブサイトユーザ/管理者に送信している場合。
- 新しいワンタイムパスワードコード: プログラムスクリプトが新しいワンタイムパスワードコードを生成して、ウェブサイトユ ーザ/管理者に送信している場合。



 なし: プログラムスクリプトが何も行なっていない場合。Web コンテンツ管理システムは独自に 生成したワンタイムパスワードコードを使用し、ウェブサイトユーザ/管理者に送信しま す。

#### 7.6.8 クラウドデプロイメント API

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、自社サーバにインストールする他、ホスティングサ ービスやクラウドホスティングサービスを使用することができます。

Web コンテンツ管理システムをクラウド上にインストールし、Web サーバの追加による動的拡張性を持たせる場合、新たにWeb サーバが追加された際に、設定しているデータベースサーバとメディアクラウドストレージを自動で検出して接続させる必要があります。

HeartCore Web コンテンツ管理システムは、データベースサーバの自動検出および自動接続を備 えた様々なクラウドホスティングサービスとデータベースサーバを、デフォルトでサポートし ています。デフォルトでサポートされていないクラウドホスティングサービスやデータベース を使って Web コンテンツ管理システムを運用するには、設定しているデータベースサーバが自 動で検出され、データベース接続文字列が自動生成されるよう、独自にプログラムコードを追 加する必要があります。

データベース接続およびメディアクラウドストレージのクラウドデプロイメント検出 は、"/config.cloud.xxx"という特殊設定プログラムスクリプトによって処理されます("xxx"は、 "aspx" "jsp" "php"のいずれかと置き換えてください)。他のクラウドホスティングサービスプロ バイダやデータベースサーバへのサポートを追加するには、このプログラムスクリプトを開い て、独自のプログラムコードを追加します。

- サーバ環境変数からクラウドデプロイメント設定を検出可能にします。もしくは他の方法によって、クラウドホスティングサービスが設定を取得できるようにします。
- "database"を、データベースサーバのデータベース接続文字列にセットします。
   「設定」>「システム」>「データベース」>「データベース接続」に入力するのと同じ 要領です。
- "database\_ini"を、任意の SQL コマンドにセットします。データベースサーバの作成や初期 化に必要となります。
- "csservice"を、サポートしているメディアクラウドストレージサービスプロバイダの中からいずれかにセットします。もしくは、別のクラウドストレージサービスプロバイダのユニ ーク ID/ユニーク名にセットします。この設定は、メディアクラウドストレージ API で説明したプログラムスクリプトでも使用します。
- "csusername"、"cspassword"、"csrootpath"、"csURLrootpath"を、それぞれ該当する値にセットします。
   「設定」>「システム」>「ウェブサイト」>「メディアストレージ」に入力するのと同じ要領です。

#### 7.6.9 Usagelog データ要約

HeartCore Web コンテンツ管理システムのアドオンモジュールには、データベースの使用量を抑えるため、古いログデータを定期的にサマライズする機能が備わっています。サマライズの実行は、管理画面から手動で行うこともできますし、自動でも可能です。自動で行うには、お使



いのオペレーションシステムの一般的な機能を用いて、定期的にプログラムを実行し、Web コンテンツ管理システムのログデータ要約機能へアクセスしてください。

#### <u>重要: Web サーバ上でローカルに実行するか、もしくはネットワーク接続を行う場合は、暗号</u> 化することを強く推奨します。

http://localhost/webadmin/usage/summarise.aspx?username=USERNAME&password=PASSWORD

https://www.yourwebsite.com/webadmin/usage/summarise.aspx?username=USERNAME&password=PASSWORD

ー度のアクセスで実行できるサマライズは、設定している要約期間に基づいて1期間のみで す。従って、設定している要約期間と(最低でも)同じ頻度で実行されることが望ましいで す。(とはいえ、頻度を少なくすれば、要約が完了するまでの時間的な余裕は生まれます。)